

令和 5 年 3 月 2 日

お知らせ

公益社団法人 京都市観光協会 (DMO KYOTO)
公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

京都市観光協会データ月報 (2023 年 1 月) について

このたび、京都市観光協会データ月報 (2023 年 1 月) をとりまとめましたのでお知らせします。
今回のホテル統計の対象施設数は 115 軒、旅館統計の対象施設数は 25 軒です。

1 月の調査結果のポイント

ホテル統計

稼働率は前年同月を上回るも、中国本土からの宿泊需要が回復せず、2019 年同月の稼働率には満たなかった

京都市内主要ホテル 115 施設における 2023 年 1 月の客室稼働率は 55.2%となった。前月 (12 月) の 73.4%からは 18.2 ポイント減、前年同月の 32.3%からは 22.9 ポイント増となった。入国制限緩和と「全国旅行支援」の下支えもあり、前年同月からは大幅に回復したものの、コロナ禍前である 2019 年同月の 65.6%からは 10.4 ポイント減となった。例年、春節の影響で中華圏からの旅行者が増加する時期ではあるが、日中両国間での入国規制が強化されているため、中国本土からの宿泊需要が回復しなかったことが要因の一つであると考えられる (P8,P12)。

日本人延べ宿泊数の 2019 年同月比は、コロナ禍前からの対象施設のみで比較すると 2.3%減

日本人延べ宿泊数は 378,325 泊となり、前月 (12 月) の 584,348 泊から 35.3%減となった。調査対象施設数の変化を考慮しない場合、前年同月比は 31.8%増、2019 年同月比は 58.1%増となった。コロナ禍前からの調査対象かつ開業済みであった施設のみ (50 施設) で比較すると、前年同月比は 31.4%増、2019 年同月比は 2.3%減となった。自粛要請の反動として生じていたリベンジ消費需要が一定満たされた事や、物価高などによる消費控えも影響していると考えられる (P8)。

外国人延べ宿泊数は堅調に回復しており、外国人比率は 30%を超え、コロナ禍での最高値を更新し続けている

外国人延べ宿泊数は 168,110 泊となり、前月 (12 月) の 191,817 泊から 12.4%減となった。調査対象施設数の変化を考慮しない場合、前年同月比は 15480.2%増、2019 年同月比は 15.1%減となった。コロナ禍前からの調査対象かつ開業済みであった施設のみ (50 施設) で比較すると、前年同月比は 14500.5%増、2019 年同月比は 45.4%減となり、前月 (12 月) の 2019 年同月比 44.7%減と比較して同水準の回復となった。

総延べ宿泊者数における外国人比率は 30.8%と、前月 (12 月) の 24.7%から 6.1 ポイント増加、2019 年同月の 45.3%からは 14.5 ポイント減少となった。外国人比率が 30%を上回るのは、2020 年 1 月に 49.6%となって以来 3 年ぶりである (P8)。

台湾・韓国・香港等の東アジアの宿泊者の割合が 50%を超え、アメリカの構成比順位が下がった

外国人延べ宿泊数の国・地域別構成比で見ると、台湾が 21.6%と最も多くなり、次いで韓国が 14.3%と東アジアの割合が高くなった。コロナ禍で長らく 1 位であったアメリカが 13.7%と 3 位になった。2019 年同月比では、香港が 83.5%増と大きく伸長した。コロナ禍前からの調査対象かつ開業済みであった施設のみ (50 施設) で比較した場合の 2019 年同月比も 39.8%増となっている。春節の影響で中国本土以外の中華圏からの観光客が増えたと考えられる (P13)。

平均客室単価は 2 か月連続で 2019 年比が増加したが、客室収益指数は 2019 年比で減少となった

平均客室単価は 14,365 円となり、前年同月の 12,064 円からは 19.1%増、2019 年同月の 12,712 円からは 13.0%増となった。客室収益指数 (平均客室単価に客室稼働率を乗じた指標で、1 室あたりの売上高に相当する) は 7,929 円となり、前年同月の 3,897 円から 103.5%増、2019 年同月の 8,339 円からは 4.9%減となった。平均客室単価は 2 か月連続で 2019 年同月比が増加した。平均客室単価を米国ドル建てで換算しても 2019 年同月比で 5.7%減まで回復した。円安に歯止めがかかる動きがあったことに加えて、宿泊需要の高まりに応じた価格設定や、人件費・原材料費高騰などに対応した価格設定をとる施設が増えたものと考えられる。ただし、稼働率が低い水準にとどまったことで、客室収益指数の 2019 年同月比は減少した (P15,16)。

旅館統計

1月の旅館の客室稼働率は39.1%となり、コロナ禍前2019年と同水準となるも、延べ宿泊数は減少している

市内主要旅館25施設における1月の稼働率は39.1%となり、前月(12月)の67.3%から28.2ポイント減、前年同月の18.8%から20.3ポイント増、コロナ禍前である2019年同月の42.2%から3.1ポイント減となった。元々1月は閑散期であるため、客室稼働率は例年通りの水準だったが、延べ宿泊数は2019年同月比で35.1%減に留まった。コロナ禍の影響で、修学旅行以外の団体旅行(社員旅行など)の催行が減少しており、1月は1部屋あたりの宿泊客数が少ない個人旅行による利用が増えたため、このような結果となったと考えられる。

なお、外国人比率は24.6%と前月12月の9.1%を大幅に上回った。日本人延べ宿泊数が前月から減少した一方で、外国人延べ宿泊数は前月から増加しており、インバウンド市場は堅調に回復しつつあるといえる(P18)。

市場環境全般

「行こう指数」は、前月から減少し、1月としては例年通りの水準となった

日本人による京都観光への訪問意向「行こう指数」の2023年1月の値は95.8(2019年の平均値を100とした場合)となり、前月(12月)の102.7からは6.9ポイント減、前年同月の92.4と同水準となった。例年通り、紅葉シーズン終了後は京都にとっては閑散期であるため、検索量が減少したものとみられる(P23)。

京都市内における宿泊施設の施設数は前年同月比4.2%減、客室数は前年同月比3.1%減となった

2023年1月末時点での京都市内における営業許可を受けた宿泊施設の施設数は、9軒開業、26軒廃業、差し引き17軒減少して、3,461軒となり、前年同月の3,611軒からは4.2%の減少となった。総客室数(推計)は56,717室となり、前年同月の58,556室から3.1%の減少となった(P25)。

日帰り客を含めた市内の日本人来街者指数は、2019年同月を5か月連続で上回っている

2023年1月の来街者指数は103.1(2019年の平均値を100とした場合)となり、前年同月の71.9を31.2ポイント上回った。コロナ禍前である2019年同月を5か月連続で上回っている(P26)。

市内4百貨店の総売上額は前年同月比18.1%増となったが、2019年同月から9.9%減となった

2023年1月の市内4百貨店の総売上額は178億円を超え、前年同月比18.1%増となったが、コロナ禍前である2019年同月比では9.9%減となった。また免税売上額の前年同月比は698.6%増となったが、2019年同月比では19.4%減となった(P28)。

観光案内所の相談者数は前月(12月)から31.5%減となった

2023年1月の相談者数は前月(12月)から31.5%減、2019年同月比は55.1%減となった。外国人相談者数の2019年同月比は62.3%減となり、コロナ禍前の水準には至っていない(P29)。

今後の見通し

3月から4月にかけては、桜の開花やイースター休暇の影響で、2019年当時に匹敵する高稼働となる見込み

1月時点の今後の客室稼働率の予測値は、2月59.9%、3月82.8%、4月95.1%となった。コロナ禍前の同時期の稼働率(実績)が、2019年2月78.5%、2019年3月85.0%、2019年4月89.9%であったことを踏まえると、3月から4月にかけては2019年当時に匹敵する高稼働となる見込みである。

10月に入国制限緩和されてから旅行の計画・手続きを開始した訪日客の需要が、この春に集中すると思われる。Googleによると、訪日旅行に関する潜在需要(航空および宿泊需要の検索動向の指数)は、1月時点で77.4となっており、コロナ禍前の2019年同月を大幅に上回り、需要指数は高水準で推移している。

一部の調査対象施設から回答を得た1月末時点での予約率では、特に、3/24(金)~4/11(火)の予約率が高くなっている。桜の開花時期であることに加え、欧米系の観光客の旅行需要が高まるイースター休暇でもあることで、約20日間に渡って繁忙期が続くことが期待できる。外国人観光客の回復により、休前日以外の平日の稼働率も高くなる見込みであり、一部施設では人手不足が課題となっているなか、勤務シフトの調整など受入体制の確保はより難しくなると懸念される(P12,P24)。

参考：新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言等の期間

時期	京都	東京	海外渡航規制など	
2020年	1月			
	2月		中国人の入国を禁止 2/6～	
	3月		外国人の入国を原則禁止 3/19～	
	4月	緊急事態宣言（1回目）4/16～5/21	緊急事態宣言（1回目）4/7～5/25	
	5月	他府県への移動自粛 5/22～6/19	他府県への移動自粛 5/26～6/19	
	6月			
	7月			
	8月	GoToトラベル キャンペーン 7/22～12/27		
	9月			
	10月		GoToトラベルキャンペーン 10/1～12/27 ※東京が目的地	
	11月		もっとTokyoTokyo 10/23～11/28	一部地域の外国人のビジネス往来を解禁 11/1～
	12月		12/18～12/27一時停止	すべての国からの外国人の新規入国を原則停止 12/28～
2021年	1月	緊急事態宣言（2回目）1/14～2/28	緊急事態宣言（2回目）1/8～3/21	
	2月			
	3月			
	4月	まん延防止等重点措置 4/12～4/24	まん延防止等重点措置 4/12～4/24	
	5月	緊急事態宣言（3回目）4/25～6/20	緊急事態宣言（3回目）4/25～6/20	
	6月	まん延防止等重点措置 6/21～7/11	まん延防止等重点措置 6/21～7/11	
	7月	まん延防止等重点措置 8/2～8/19	緊急事態宣言（4回目）7/12～9/30	
	8月	緊急事態宣言（4回目）8/20～9/30		
	9月			
	10月	きょうと魅力再発見旅プロジェクト 10/22～2/1 ※1/4～近隣府県民に拡大 ※1/12～近隣府県民、順次新規予約停止 ※1/26～京都府民の予約停止		
	11月		KYOTOagain! 11/1～12/31	外国人の新規入国を条件付きで解禁 11/8～
	12月			外国人の新規入国を原則停止 11/30～
2022年	1月	まん延防止等重点措置 1/27～3/21	まん延防止等重点措置 1/21～3/21	
	2月			
	3月			観光目的以外の外国人の新規入国を容認 日本人を含む入国上限 1日5,000人に 3/1～
	4月	きょうと魅力再発見旅プロジェクト 3/22～10/10 ※GW（4/30～5/8）を除く		
	5月	※6/1～近隣府県民に拡大（奈良県民除く） ※7/1～奈良県民に拡大		
	6月	※7/15～9/11大阪府民は対象外 ※9/12～大阪府民に拡大	もっとTokyo 6/10～7/31	入国上限 1日20,000人に 6/1～ 添乗員付きパッケージツアー客の受入再開 6/10～
	7月			
	8月		京都「にち・とま」キャン ペーン 8月お盆明け～10月	
	9月		もっとTokyo 9/1～12/20	入国上限 1日5万人に 添乗員なしのパッケージツアー受入など 9/7～
	10月	全国旅行支援（京都） 10/11～12/27	全国旅行支援（東京） 10/20～12/27	入国上限 撤廃 個人旅行者の入国解禁など 10/11～
	11月			
	12月			
2023年	1月	全国旅行支援（京都） 1/10～3/31	全国旅行支援（東京） 1/10～3/31	
	2月			
	3月			

出所) 京都市 HP、東京都 HP、GoTo トラベル HP、きょうと魅力再発見旅プロジェクト HP、ただいま東京プラス H P等を参考に京都市観光協会で作成

調査概要	5
(1) 全体概要.....	5
(2) 調査対象.....	5
(3) 分析数値.....	5
(4) 新型コロナウイルス感染症の拡大等に伴う臨時的な休業の扱いについて.....	5
(5) データ分析用ダッシュボードの提供について.....	6
(6) その他.....	7
ホテル統計	8
(1) 主要指標の一覧.....	8
(2) 延べ宿泊数 前年同月比の推移.....	10
(3) 客室稼働率・外国人比率の推移.....	12
(4) 国・地域別の延べ宿泊数 構成比.....	13
(5) 国・地域別の延べ宿泊数 前年伸率・2019年伸率（単位 %）.....	13
(6) 外国人宿泊者実人数、訪日外国人、観光目的入国者数の伸び率.....	14
(7) 平均客室単価および客室収益指数.....	15
7-1. 調査対象施設の一部における主要経営指標.....	15
7-2. 平均客室単価の2019年同月比推移と為替の影響.....	16
7-3. 2023年1月の主要都市別主要経営指標（出典：STR）.....	16
旅館統計	18
(1) 主要指標の一覧.....	18
(2) 稼働率の推移、延べ宿泊数の前年同月比・2019年同月比の推移、外国人比率の推移.....	19
(3) 月20日以上休業した施設の割合.....	20
市場環境全般	21
(1) 宿泊予約サイトにおける12週間先までの客室販売価格の推移.....	21
(2) 京都観光意向指数（通称：行こう指数）.....	23
2-1. 日本人の訪問意向.....	23
2-2. 外国人の国際旅行意向.....	24
(3) 京都市内の宿泊施設数・客室の推移.....	25
(4) ビッグデータにもとづく京都市内の人流・滞在状況.....	26
4-1. 市内の日本人来街者数の実績.....	26
4-2. 年代別の分布.....	27
(5) 京都市内4百貨店における免税売上げ.....	28
(6) 京都総合観光案内所（京なび）利用者数 ※JR京都駅ビル2階.....	29
(7) 為替レートの推移.....	30
京都115ホテル宿泊状況調査結果 集計表（2023年1月）.....	31

(1) 全体概要

- 京都市内における日本人および外国人の宿泊状況等をタイムリーに把握できるよう、平成 26 年（2014 年）4 月以降、京都市内の主な宿泊施設の協力を得て、国・地域別の調査（「実人数」「延べ泊数」「延べ部屋数」）を毎月実施。※全国で唯一の取組（京都市観光協会調べ）。
- なお、本調査では、ビジネス、観光を問わず、日本国籍以外のパスポートを有する人すべてを「外国人」として定義しています。

(2) 調査対象

2023 年 1 月時点	ホテル		旅館	
	施設数	客室数	施設数	客室数
調査対象	115	19,283	25	618
市内全体 ^{※1}	290	35,331	367	5,311
カバー率	39.7%	54.6%	6.8%	11.6%

- ※1 平成 30 年の旅館業法改正にともないホテル・旅館の区分が廃止されたため、市内全体におけるホテルの施設数および客室数は、区分が廃止される直前までの旅館の数値に変動が無いものと仮定して算出している。
- ※2 前年と本年では対象施設数が異なる場合があるため、今回発表する前年の数値は昨年発表値と異なる。
- ※3 P16 の客室収益指数 (RevPAR) 等の数値は、ホテルデータサービス会社 STR（本社：イギリス・ロンドン）からの提供によるもので、上記ホテル施設数とは対象が一部異なる。

(3) 分析数値

「販売可能客室数」…日々販売されている客室数の月間累積値を示す。

例) 100 部屋を有する施設にて、20 室が改装工事中、80 室を 30 日間販売していた場合
 販売可能客室数：80 室×30 日=2,400 室

「客室稼働率」… 「販売可能客室数」における「稼働客室数」の割合

「外国人比率」… 「総延べ人数」における「外国人延べ人数」の割合

「構成比」… 「外国人延べ人数」における「各国・地域の延べ人数」の割合

「伸率」… 「前年の各国・地域の延べ人数」に対する「本年の各国・地域の延べ人数」の伸率

(4) 新型コロナウイルス感染症の拡大等に伴う臨時的な休業の扱いについて

調査対象期間（2023 年 1 月 1 日～1 月 31 日）中、対象施設が臨時的に休業した場合は、通常営業していた期間のみを対象にして客室稼働率を算出します。

例) 100 部屋を有する施設が、以下のように営業をしていた場合

- ① 1 月 1 日～10 日期間（10 日）は 100 室のまま通常営業し、利用のあった客室数は 200 室
- ② 1 月 11 日～20 日期間（10 日）は 50 室に絞って営業し、利用のあった客室数は 100 室
- ③ 1 月 21 日～31 日の期間（11 日）は休業

販売可能客室数：100 室×10 日（①期間）+ 50 室×10 日（②期間） = 1,500 室

客室稼働率：利用のあった客室数 300 室 ÷ 営業期間中の販売可能客室数 1,500 室 = 20%

調査対象施設における 2023 年 1 月（1 月 1 日～1 月 31 日）の臨時休業状況

臨時休業日数	全日休業 (31 日間)	20 日以上 ～31 日未満	10 日以上 ～20 日未満	10 日未満	休業なし
ホテル施設数	3 (2.6%)	0 (0.0%)	2 (1.7%)	2 (1.7%)	108 (93.9%)
旅館施設数	1 (4.0%)	0 (0.0%)	3 (12.0%)	6 (24.0%)	15 (60.0%)

(5) データ分析用ダッシュボードの提供について

これまでデータ月報で発表してきた各種データを、自由に分析・加工していただける機能（Tableau ダッシュボード）を、京都市観光協会ウェブサイト内にて提供しております。

<p>利用方法</p>	<p>毎月のデータ月報発表ページ下部に、当該機能を利用するための案内メニューを掲載します。案内に従って料金をお支払いいただくと、ダッシュボードの URL とパスワードをお知らせいたします。京都市観光協会の会員、および京都文化交流コンベンションビューローの賛助会員は無料にてご利用いただけます。同じページ内に設置する専用フォームから、お申込みください。ご入会については、公式ウェブサイトからご確認ください。</p>  <p>◁ ダッシュボードのご利用申込みは、こちらからお願いいたします。 https://www.kyokanko.or.jp/dashboard</p>
<p>料金</p>	<p style="text-align: center;">月額 490円（税込）</p> <p>なお、毎月の利用権はデータ月報が発表される日にリセットされます（最新月のデータの追加と同時に、URL とパスワードを変更します）。毎月末頃の発表日直前にご購入いただいた場合、発表後に改めて翌月分のご購入をいただく必要がありますので、ご注意ください。</p>
<p>利用可能なデータ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 延べ宿泊数、実宿泊客数、稼働客室数の 前年同月比の月次推移 ● 客室稼働率の月次推移 ● 1 部屋当たり宿泊客数、1 人当たり宿泊日数の月次推移 ● 国・地域別の延べ宿泊数の 前年同月比の月次推移 ● 平均客室単価および客室収益指数の月次推移 ● 行こう指数の月次推移 ● 市内開業済・開業予定の 宿泊施設の位置情報（Google マイマップ）
<p>分析画面のイメージ</p>	 <p>京都市観光協会の公式サイト上で利用することができます。ログインにはパスワードが必要です。</p> <p>分析項目によっては、年月などの時点や、国籍・地域などで絞り込んだ表示切替を瞬時に行うことができます。</p> <p>Excel 形式等でダウンロードすることができ、用途に合わせて自由に分析、デザイン加工などをしていただくことができます。</p>

(6) その他

- 京都市観光協会データ月報は、調査対象施設のみなさまのご協力、ならびに京都市観光協会会員および京都文化交流コンベンションビューロー賛助会員からの会費をもとに運営しております。
- 本資料の数値を引用する場合は、「出典：京都市観光協会データ月報」を明示してください。ただし、P16のSTRデータについては、STRの書面による許諾を伴わない再出版もしくは二次使用は固く禁じられています。報道・メディア媒体への掲載については、(公社)京都市観光協会(担当：堀江)までお問合せください。
- 各種数値は、データ提供元である宿泊施設等からの訂正等により、後日予告なく修正される場合があります。原則として、後から発表される数値を正しいものとして利用いただくようお願いいたします。
- 京都市全体の観光動向の把握については、ほぼすべての市内宿泊施設(旅館業法許可施設)を対象とする「京都観光総合調査」(京都市から年1回発表)が基本指標となります。当調査は、インバウンドマーケットの傾向を把握するための、京都市内の主な宿泊施設を対象とする標本調査であるため、その他ホテルや旅館、簡易宿所、いわゆる「民泊」等に宿泊した外国人客は含まれておらず、訪日外客数(日本全体)との比較等も参考分析という位置づけとなります。
- ご協力いただいている本調査対象ホテルには、エリア・客室数・ADRなどに分類集計したデータ、日毎稼働率の実績・予約データ(いずれも非公開)を毎月ご提供しております。調査参画をご希望の場合は、下記までお問合せください。

<本件に関する問い合わせ先>

公益社団法人京都市観光協会

TEL : 075-213-0070 e-mail : marketing@kyokanko.or.jp

担当 : 企画推進課 神田、堀江

ホテル統計

(1) 主要指標の一覧

指標	2023年 1月	2022年 12月	前月 伸率・差	2022年 1月	前年同月 伸率・差	2019年 1月	2019年 同月 伸率・差
調査・集計時点	2023年 1月	2022年 12月	—	2023年 1月	—	2020年 1月	—
調査対象施設数	115	115	—	115	—	58	—
販売可能客室数	593,909 室	596,711 室	▼ 0.5%	573,692 室	△ 3.5%	373,854 室	△58.9%
稼働客室数	328,057 室	437,993 室	▼25.1%	185,249 室	△77.1%	245,065 室	△33.9%
客室稼働率	55.2 %	73.4 %	▼18.2pts	32.3 %	△22.9pts	65.6 %	▼10.4pts
日本人延べ宿泊数	378,325 泊	584,348 泊	▼35.3%	287,048 泊	△31.8%	239,238 泊	△58.1%
外国人延べ宿泊数	168,110 泊	191,817 泊	▼12.4%	1,079 泊	△15480.2%	198,055 泊	▼15.1%
総延べ宿泊数	546,435 泊	776,165 泊	▼29.6%	288,127 泊	△89.7%	437,293 泊	△25.0%
外国人比率	30.8 %	24.7 %	△6.1pts	0.4 %	△30.4pts	45.3 %	▼14.5pts
1部屋当たり宿泊客数	1.67 人	1.77 人	▼0.11 人	1.56 人	△0.11 人	1.78 人	▼0.12 人
1人当たり宿泊日数	1.82 泊	1.95 泊	▼0.12 泊	1.58 泊	△0.24 泊	1.77 泊	△0.06 泊

注) 過去の調査回答数値に誤りがあった為、2019年の値は発表当時の値から訂正しております。また、集計過程で補正処理を行っている都合上、各種指標には小数点以下の端数が発生しており、伸率・差の値は上記の整数値で計算した場合と必ずしも一致しない場合があります。

コロナ禍前からの調査対象かつ開業済みであった施設のみに絞った場合の主要指標

指標	2023年 1月	2022年 12月	前月 伸率・差	2022年 1月	前年同月 伸率・差	2019年 1月	2019年 同月 伸率・差
調査・集計時点	2023年 1月	2022年 12月	—	2023年 1月	—	2020年 1月	—
調査対象施設数	50	50	—	50	—	50	—
販売可能客室数	346,114 室	349,029 室	▼ 0.8%	349,029 室	▼ 0.8%	340,857 室	△ 1.5%
稼働客室数	187,675 室	262,621 室	▼28.5%	103,282 室	△81.7%	223,113 室	▼15.9%
客室稼働率	54.2 %	75.2 %	▼21.0pts	29.6 %	△24.6pts	65.5 %	▼11.3pts
日本人延べ宿泊数	221,653 泊	354,936 泊	▼37.6%	168,733 泊	△31.4%	226,755 泊	▼ 2.3%
外国人延べ宿泊数	94,027 泊	110,396 泊	▼14.8%	644 泊	△14500.5%	172,127 泊	▼45.4%
総延べ宿泊数	315,680 泊	465,332 泊	▼32.2%	169,377 泊	△86.4%	398,882 泊	▼20.9%
外国人比率	29.8 %	23.7 %	△6.1pts	0.4 %	△29.4pts	43.2 %	▼13.4pts
1部屋当たり宿泊客数	1.68 人	1.77 人	▼0.09 人	1.64 人	△0.04 人	1.79 人	▼0.11 人
1人当たり宿泊日数	1.80 泊	1.88 泊	▼0.09 泊	1.57 泊	△0.23 泊	1.75 泊	△0.04 泊

注) 過去の調査回答数値に誤りがあった為、2019年の値は発表当時の値から訂正しております。また、集計過程で補正処理を行っている都合上、各種指標には小数点以下の端数が発生しており、伸率・差の値は上記の整数値で計算した場合と必ずしも一致しない場合があります。

【参考】京都市全体および日本全体との比較（単位 %）

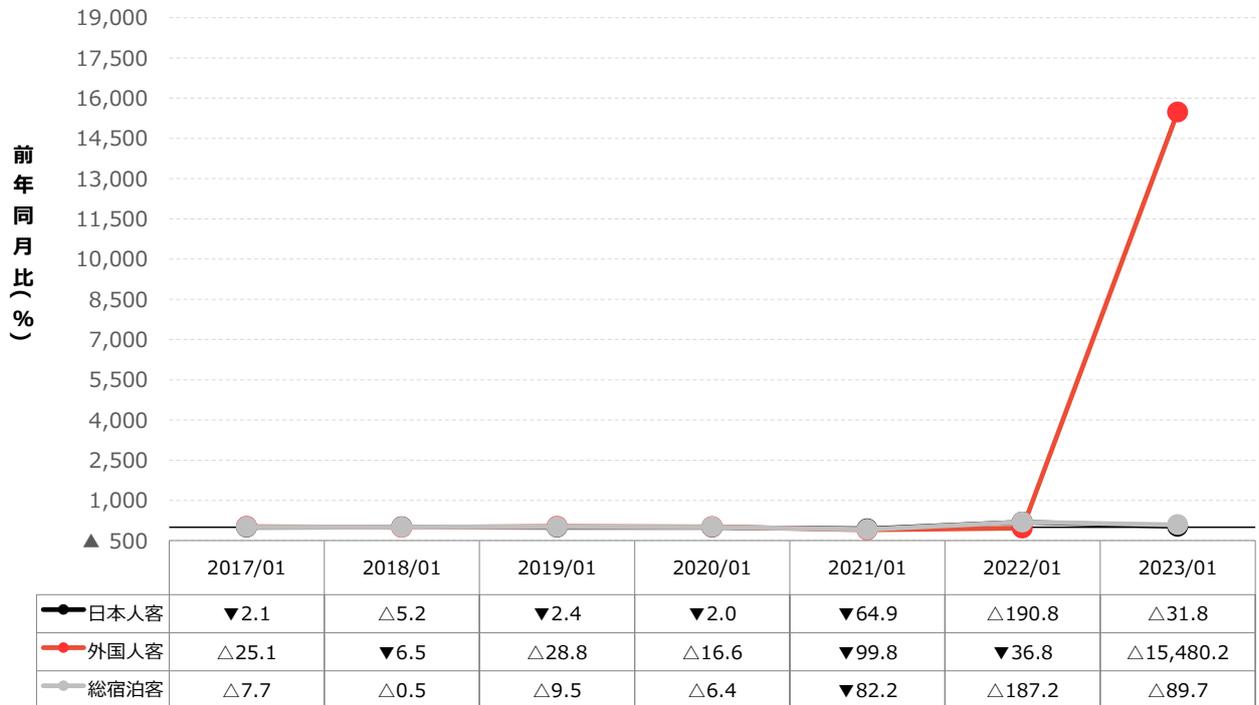
年	月	客室稼働率			延べ宿泊数 前年比			延べ宿泊数 外国人比率		
		ホテル 統計	京都市 全体	日本 全体	ホテル 統計	京都市 全体	日本 全体	ホテル 統計	京都市 全体	日本 全体
2020	1	66.8	57.3	62.3	△6.0	△89.8	△1.1	49.9	43.9	22.5
	2	54.3	49.2	59.9	▼28.7	△27.8	▼14.0	28.5	28.3	13.0
	3	29.6	31.6	35.9	▼64.2	▼33.9	▼53.2	14.2	15.8	4.7
	4	6.1	6.6	17.2	▼94.8	▼89.8	▼80.9	4.2	4.2	2.1
	5	8.1	5.6	13.6	▼96.0	▼92.2	▼84.9	0.8	3.0	1.7
	6	14.6	14.1	24.8	▼86.8	▼76.7	▼68.9	0.7	2.4	1.3
	7	20.0	20.7	32.5	▼74.6	▼59.7	▼58.3	0.5	1.6	1.0
	8	23.4	22.1	34.7	▼70.2	▼53.4	▼58.6	0.4	1.0	0.8
	9	32.6	30.6	40.3	▼55.5	▼33.6	▼46.6	0.4	0.8	0.7
	10	40.6	38.1	48.5	▼41.4	▼26.3	▼35.2	0.4	0.9	0.8
	11	63.3	57.3	52.8	▼9.9	△8.6	▼30.5	0.6	1.2	1.3
	12	39.0	36.9	42.5	▼37.8	▼19.7	▼40.9	0.7	1.1	1.8
2021	1	13.4	14.4	26.2	▼79.2	▼77.3	▼59.9	1.6	2.2	2.6
	2	19.7	19.2	30.5	▼61.8	▼64.9	▼52.9	0.6	0.8	1.2
	3	31.4	32.1	40.2	△25.8	△2.4	△14.0	1.3	2.1	1.0
	4	21.1	20.9	35.8	△384.9	△228.3	△131.2	0.7	0.8	1.0
	5	14.0	13.5	30.1	△360.7	△194.4	△163.0	0.6	0.8	1.2
	6	19.7	18.4	32.4	△92.7	△42.7	△37.6	0.5	0.8	1.2
	7	30.1	28.7	43.4	△87.7	△46.4	△38.6	0.5	0.9	2.5
	8	26.6	25.2	40.5	△34.4	△9.2	△18.5	0.5	1.0	1.9
	9	27.1	24.2	35.2	▼13.1	▼30.5	▼13.8	0.5	0.6	1.2
	10	38.8	34.1	46.7	▼2.9	▼19.0	▼2.6	0.6	0.8	0.9
	11	58.9	55.4	54.1	△1.6	▼8.0	△5.4	0.5	0.7	0.9
	12	55.2	48.2	54.1	△55.6	△36.8	△40.0	0.4	0.7	0.8
2022	1	32.3	29.1	39.2	△187.2	△104.3	△64.5	0.4	0.6	0.8
	2	31.9	27.9	38.4	△99.0	△43.7	△32.0	0.4	0.6	0.9
	3	44.8	41.3	47.5	△54.0	△34.4	△22.6	0.6	1.1	1.0
	4	47.1	42.7	50.5	△161.1	△111.3	△49.9	1.0	1.0	1.6
	5	49.9	45.9	51.2	△348.4	△272.9	△79.4	1.2	1.6	1.8
	6	51.0	46.3	53.3	△232.3	△189.3	△75.9	1.7	1.5	1.8
	7	47.2	44.8	54.8	△69.3	△75.2	△33.2	2.4	2.1	1.7
	8	49.2	46.5	57.9	△112.0	△99.4	△53.2	3.5	2.4	1.5
	9	54.4	52.1	57.1	△134.0	△144.6	△75.7	3.9	3.1	2.1
	10	63.7	57.6	61.5	△88.5	△94.6	△40.2	13.7	10.4	4.8
	11	80.2	70.1	66.1	△48.4	△48.5	△26.8	18.3	17.3	8.3
	12	73.4	-	-	△138.0	-	-	24.7	-	-
2023	1	55.2	-	-	△89.7	-	-	30.8	-	-

注) 京都市全体および日本全体の値は、観光庁 宿泊旅行統計 2次速報値をもとに集計

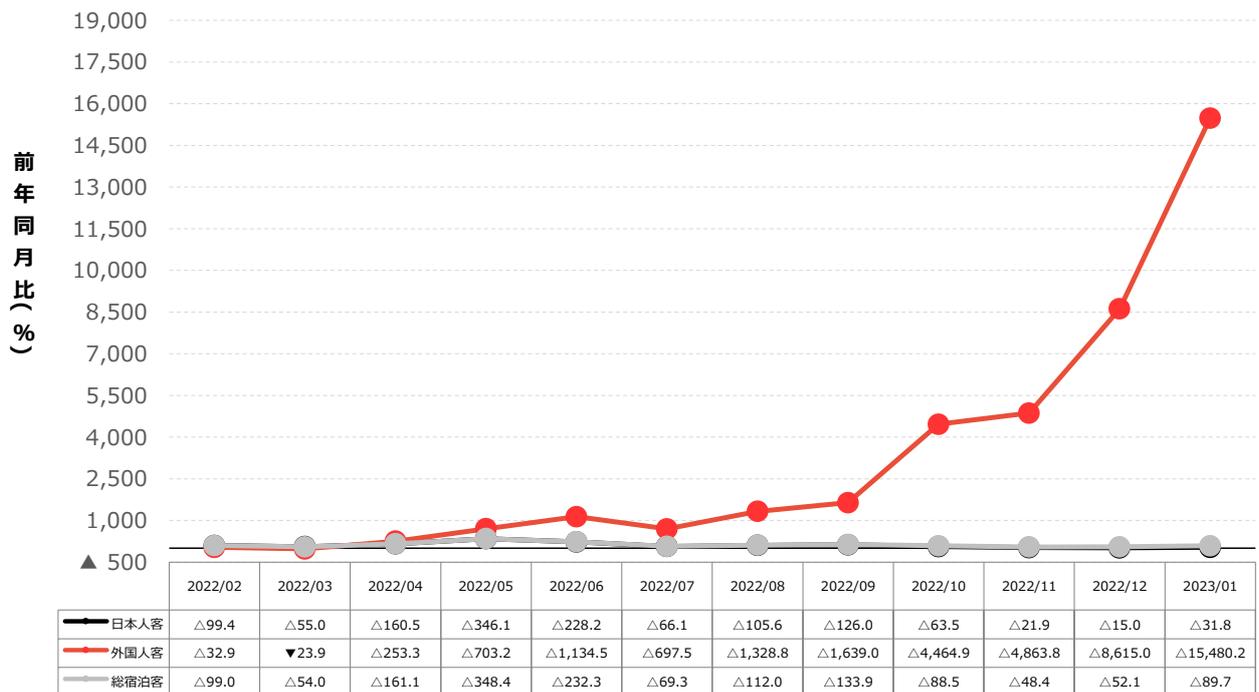
注) 過去の調査回答値に誤りがあった為、ホテル統計の各項目の値について発表当時の値から訂正しております

(2) 延べ宿泊数 前年同月比の推移

延べ宿泊数の前年同月比 年次推移

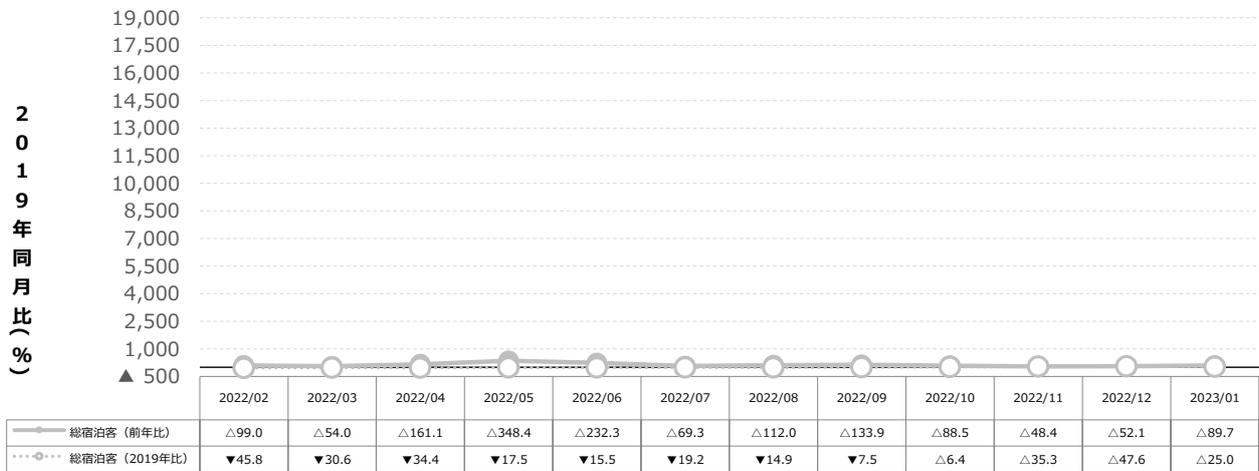


延べ宿泊数の前年同月比 直近 12 か月 月次推移

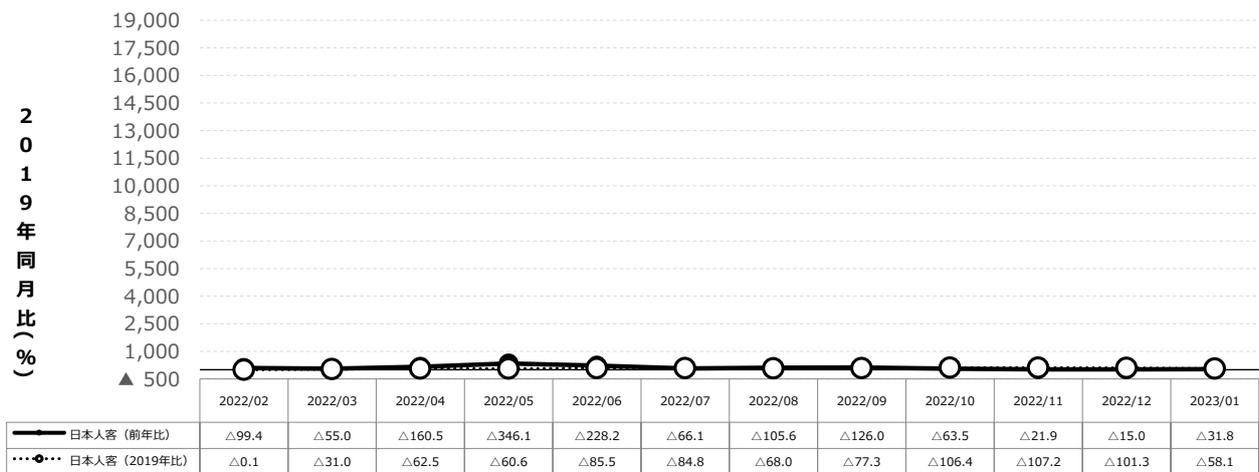


【参考】2019年との比較

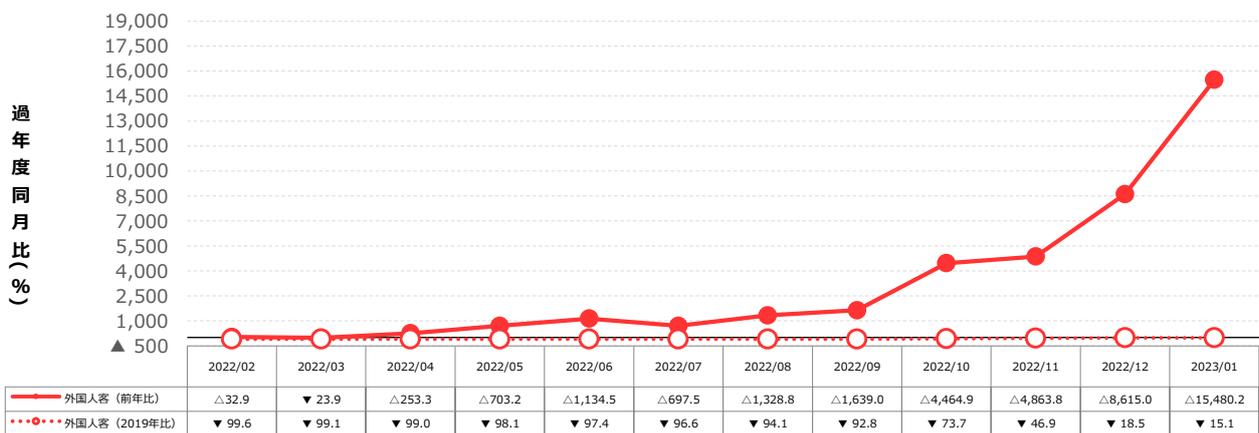
総延べ宿泊数の2019年同月比 月次推移



日本人延べ宿泊数の2019年同月比 月次推移

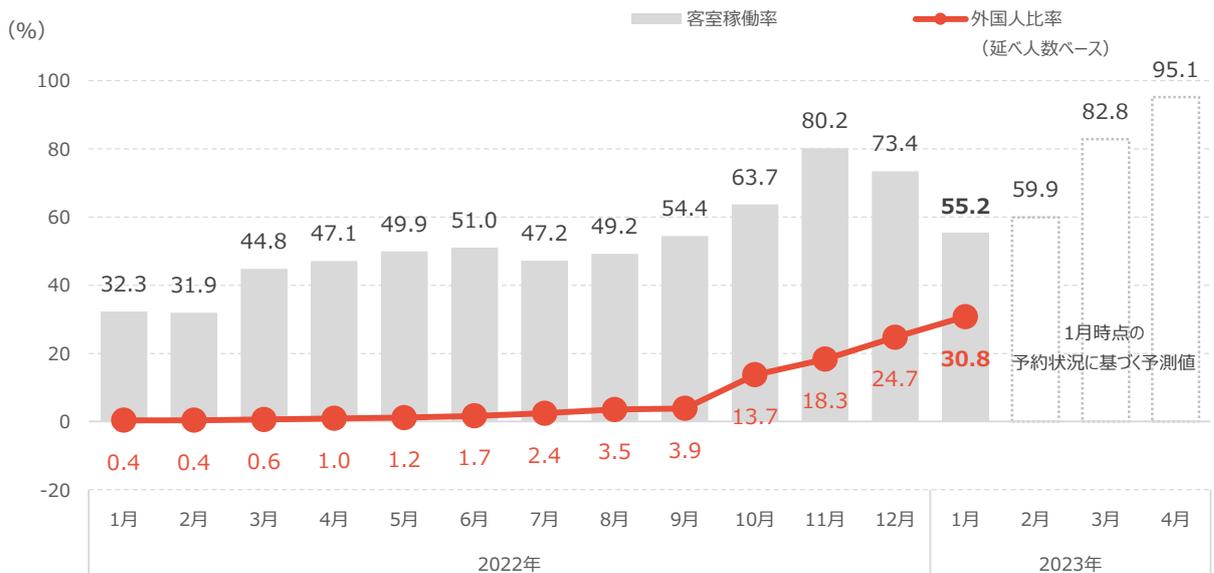


外国人延べ宿泊数の2019年同月比 月次推移



(3) 客室稼働率・外国人比率の推移

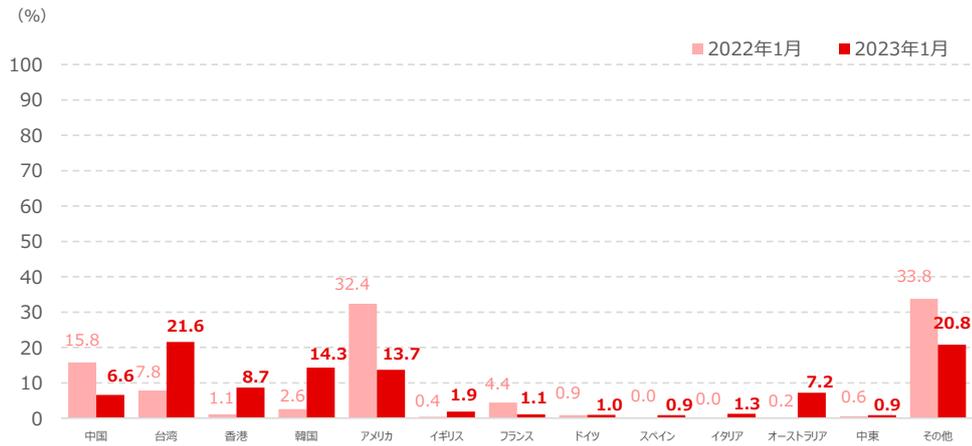
- 京都市内主要ホテル 115 施設における 2023 年 1 月の客室稼働率は 55.2% となった。前月（12 月）の 73.4% からは 18.2 ポイント減、前年同月の 32.3% からは 22.9 ポイント増となった。入国制限緩和と「全国旅行支援」の下支えもあり、前年同月からは大幅に回復したものの、コロナ禍前である 2019 年同月の 65.6% からは 10.4 ポイント減となった。例年、春節の影響で中華圏からの旅行者が増加する時期ではあるが、日中両国間での入国規制が強化されているため、中国本土からの宿泊需要が回復しなかったことが要因の一つであると考えられる。
- 1 月時点の今後の客室稼働率の予測値は、2 月 59.9%、3 月 82.8%、4 月 95.1% となった。コロナ禍前の同時期の稼働率（実績）が、2019 年 2 月 78.5%、2019 年 3 月 85.0%、2019 年 4 月 89.9% であったことを踏まえると、3 月から 4 月にかけては 2019 年当時に匹敵する高稼働となる見込みである。10 月に入国制限緩和されてから旅行の計画・手続きを開始した訪日客の需要が、この春シーズンに集中すると思われる。



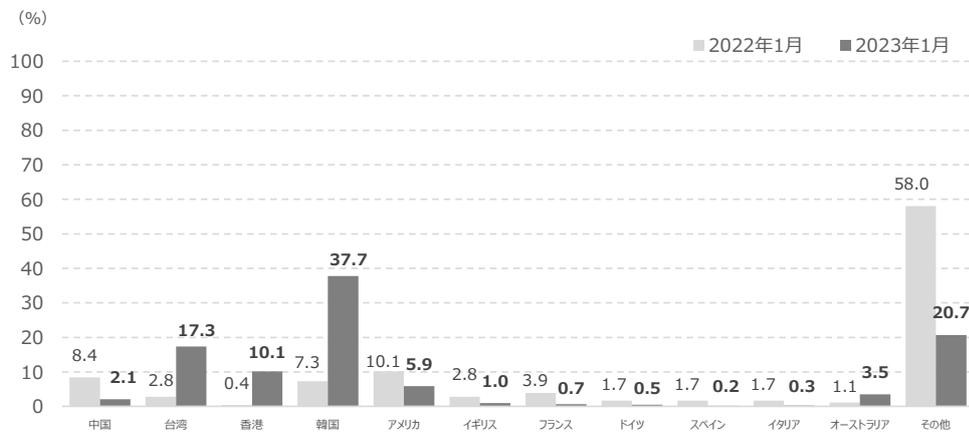
注) 客室稼働率の予測は、調査対象施設の一部における「1 か月後」「2 か月後」「3 か月後」の客室予約状況の前年比データを 2017 年から収集し、実際の客室稼働率と照らし合わせることで、予測モデルを作成して算出している。

注) 過去の調査回答数値に誤りがあった為、2020 年以前の値について発表当時の値から訂正しております

(4) 国・地域別の延べ宿泊数 構成比



【参考】 訪日外客数・構成比 (国・地域別) (実人数) 出典：日本政府観光局 (JNTO)



(5) 国・地域別の延べ宿泊数 前年伸率・2019年伸率 (単位 %)

	京都主要ホテル		京都主要ホテル (2019年から調査対象施設のみ)		訪日外客 (JNTO)	
	前年伸率	2019年伸率	前年伸率	2019年伸率	前年伸率	2019年伸率
中国	△ 6,373.7	▼ 84.7	△ 11,479.2	▼ 91.7	△ 1,980.0	▼ 95.9
台湾	△ 43,179.8	△ 40.5	△ 28,217.5	▼ 1.0	△ 51,760.0	▼ 33.1
香港	△ 122,025.0	△ 83.5	△ 162,966.7	△ 39.8	△ 216,900.0	▼ 1.6
韓国	△ 85,535.7	△ 59.2	△ 639,900.0	▼ 8.7	△ 43,376.9	▼ 27.5
アメリカ	△ 6,486.9	△ 24.2	△ 4,982.0	▼ 18.9	△ 4,794.4	▼ 14.6
イギリス	△ 80,200.0	▼ 4.3	△ 100.0	▼ 28.6	△ 2,920.0	▼ 29.9
フランス	△ 3,814.6	▼ 2.0	△ 9,966.7	▼ 32.6	△ 1,300.0	▼ 36.0
ドイツ	△ 16,770.0	△ 29.6	△ 53,750.0	△ 22.2	△ 2,366.7	▼ 34.8
スペイン	△ 100.0	▼ 13.0	△ 100.0	▼ 37.8	△ 933.3	▼ 29.3
イタリア	△ 100.0	▼ 10.5	△ 100.0	▼ 43.1	△ 1,333.3	▼ 28.7
オーストラリア	△ 608,300.0	▼ 36.0	△ 350,850.0	▼ 58.0	△ 26,200.0	▼ 35.1
中東	△ 24,400.0	△ 77.8	△ 46,650.0	△ 19.0	未発表	未発表

(6) 外国人宿泊者実人数、訪日外国人の伸び率

- 京都市内主要ホテル 115 施設における 2023 年 1 月の外国人宿泊客実人数は 70,608 人となり、前月 12 月の 71,508 人から 1.3%減となった（ただし、調査対象施設が異なる為、比較には留意が必要である。また、本調査には日本在住外国人も含まれている）。
- JNTO が発表した訪日外国人数は 149 万人と 12 月比で 9.3%増であり、訪日外国人数の増加に京都での宿泊数は連動しておらず、1 月は京都が宿泊地として選ばれにくい状況であったと思われる。

外国人宿泊者数（実人数）、訪日外国人数、観光目的入国者数の伸び率の比較

	調査施設数	外国人宿泊客 実人数※	前月比	2019年 同月比	訪日外国人数 (JNTO)	前月比	2019年 同月比
2022 2月	104	417	-6.5%	-99.6%	16,700	-6.2%	-99.4%
2022 3月	109	1,559	273.9%	-98.8%	66,100	295.8%	-97.6%
2022 4月	108	1,658	6.4%	-98.9%	139,500	111.0%	-95.2%
2022 5月	109	2,313	39.5%	-98.1%	147,000	5.4%	-94.7%
2022 6月	108	2,848	23.1%	-98.0%	120,400	-18.1%	-95.8%
2022 7月	111	4,476	57.2%	-96.9%	144,500	20.0%	-95.2%
2022 8月	111	4,574	2.2%	-96.5%	169,800	17.5%	-93.3%
2022 9月	114	6,841	49.6%	-94.4%	206,500	21.6%	-90.9%
2022 10月	116	29,772	335.2%	-79.1%	498,600	141.5%	-80.0%
2022 11月	112	52,220	75.4%	-53.5%	934,500	87.4%	-61.7%
2022 12月	115	71,508	36.9%	-19.0%	1,370,000	46.6%	-45.8%
2023 1月	115	70,608	-1.3%	-20.7%	1,497,300	9.3%	-44.3%

※日本在住外国人含む

出典) 日本政府観光局 (JNTO)

(7) 平均客室単価および客室収益指数

7-1. 調査対象施設の一部における主要経営指標

- 平均客室単価は 14,365 円となり、前年同月の 12,064 円からは 19.1%増、2019 年同月の 12,712 円からは 13.0%増となった。
- 客室収益指数（平均客室単価に客室稼働率を乗じた指標で、1 室あたりの売上高に相当する）は 7,929 円となり、前年同月の 3,897 円から 103.5%増、2019 年同月の 8,339 円からは 4.9%減となった。
- 平均客室単価は 2 か月連続で 2019 年比が増加に転じた。宿泊需要の高まりや、世界的な物価上昇や燃料価格の高騰、稼働率の改善に伴う人件費の増加を受けて、利益確保のために販売価格を引き上げる施設が増えていると考えられる。ただし、稼働率が低い水準にとどまったことで、客室収益指数の 2019 年同月比は減少となった。

月別の客室平均単価

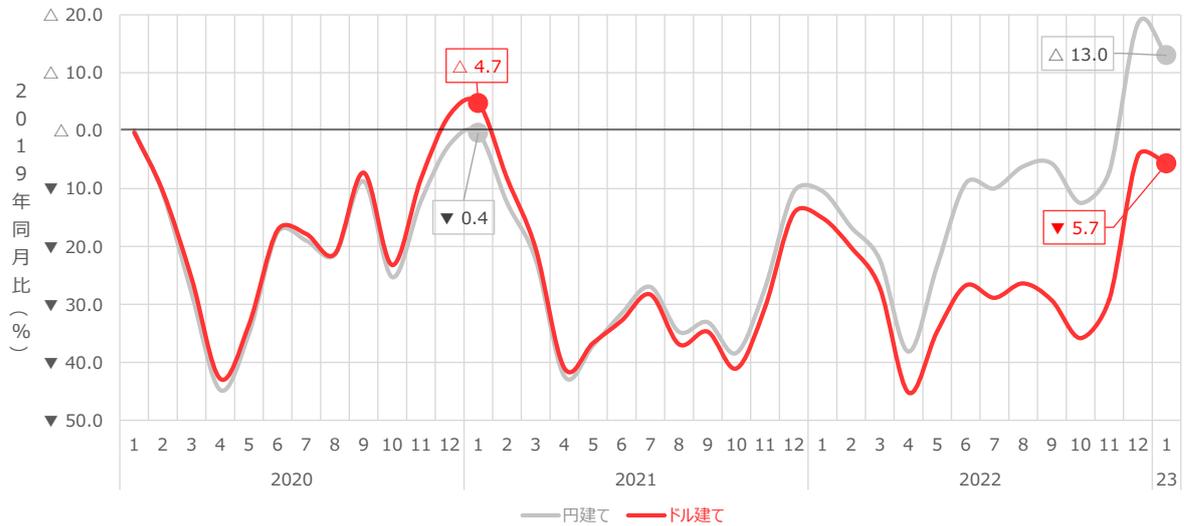
		本年 (円)	前年 (円)	前年比 (%)	2019年 (円)	2019年比 (%)
2022年	2月	10,524	10,672	▼ 1.4	12,628	▼ 16.7
2022年	3月	13,357	12,969	△ 3.0	17,185	▼ 22.3
2022年	4月	13,818	12,554	△ 10.1	22,341	▼ 38.1
2022年	5月	13,269	10,365	△ 28.0	17,318	▼ 23.4
2022年	6月	11,981	9,646	△ 24.2	13,181	▼ 9.1
2022年	7月	12,571	10,226	△ 22.9	13,966	▼ 10.0
2022年	8月	12,981	9,953	△ 30.4	13,838	▼ 6.2
2022年	9月	12,427	9,351	△ 32.9	13,175	▼ 5.7
2022年	10月	14,647	11,097	△ 32.0	16,739	▼ 12.5
2022年	11月	18,746	15,104	△ 24.1	20,186	▼ 7.1
2022年	12月	16,376	13,162	△ 24.4	13,825	△ 18.5
2023年	1月	14,365	12,064	△ 19.1	12,712	△ 13.0

月別の客室収益指数

		本年 (円)	前年 (円)	前年比 (%)	2019年 (円)	2019年比 (%)
2022年	2月	3,357	2,102	△ 59.7	9,913	▼ 66.1
2022年	3月	5,984	4,072	△ 46.9	14,607	▼ 59.0
2022年	4月	6,508	2,649	△ 145.7	20,085	▼ 67.6
2022年	5月	6,621	1,451	△ 356.3	14,391	▼ 54.0
2022年	6月	6,110	1,900	△ 221.6	10,518	▼ 41.9
2022年	7月	5,934	3,078	△ 92.8	10,768	▼ 44.9
2022年	8月	6,387	2,647	△ 141.2	11,499	▼ 44.5
2022年	9月	6,760	2,478	△ 172.8	10,922	▼ 38.1
2022年	10月	9,330	4,306	△ 116.7	14,412	▼ 35.3
2022年	11月	15,034	8,896	△ 69.0	17,844	▼ 15.7
2022年	12月	12,020	7,042	△ 70.7	10,521	△ 14.2
2023年	1月	7,929	3,897	△ 103.5	8,339	▼ 4.9

7-2. 平均客室単価の2019年同月比推移と為替の影響

- 2023年1月の平均客室単価の2019年同月比は、日本円建てで計算すると13.0%増となった。しかしながら、米国ドル建てで換算した場合は5.7%減と、コロナ禍前の水準をわずかに下回っている。入国規制緩和にともない、外国人観光客による宿泊需要が増加しつつあるが、日本人客と外国人客で客室価格に対する評価が変わる（外国人客にとっては、コロナ禍前よりも割安に感じる状態である）ことに留意が必要である。



7-3. 2023年1月の主要都市別主要経営指標 (出典: STR)

STRとの契約の都合上、過去のデータについては
非公開とさせていただきます。
何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

STRとの契約の都合上、過去のデータについては
非公開とさせていただきます。
何卒ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

(1) 主要指標の一覧

- 市内主要旅館 25 施設における 1 月の稼働率は 39.1%となり、前月（12 月）の 67.3%から 28.2 ポイント減、前年同月の 18.8%から 20.3 ポイント増、コロナ禍前である 2019 年同月の 42.2%から 3.1 ポイント減となった。元々 1 月は閑散期であるため、客室稼働率は例年通りの水準だったが、延べ宿泊数は 2019 年同月比で 35.1%減に留まった。コロナ禍の影響で、修学旅行以外の団体旅行（社員旅行など）の催行が減少しており、1 月は 1 部屋あたりの宿泊客数が少ない個人旅行による利用が増えたため、このような結果となったと考えられる。
- 外国人比率は 24.6%と前月 12 月の 9.1%を大幅に上回った。日本人延べ宿泊数が前月から減少した一方で、外国人延べ宿泊数は前月から増加しており、インバウンド市場が堅調に回復しつつあるといえる。

旅館統計

	2023年1月	2022年12月	前月比・差	2022年1月	前年同月比・差	2019年1月	2019年同月比・差
調査対象施設数	25	26		29		25	
販売可能客室数 (1カ月の延べ数)	16,315	18,893	▼ 13.6%	12,801	△ 27.5%	17,149	▼ 4.9%
稼働客室数 (月間)	6,386	12,713	▼ 49.8%	2,404	△ 165.6%	7,231	▼ 11.7%
客室稼働率	39.1%	67.3%	▼ 28.2	18.8%	△ 20.3	42.2%	▼ 3.1
総延べ宿泊数	16,921	45,094	▼ 62.5%	5,838	△ 189.8%	26,055	▼ 35.1%
総実宿泊客数	11,587	26,054	▼ 55.5%	4,583	△ 152.8%	17,059	▼ 32.1%
一部屋当たり客数	2.65	3.55	▼ 0.90	2.43	△ 0.22	3.60	▼ 0.95
一人当たり宿泊日数	1.46	1.73	▼ 0.27	1.27	△ 0.19	1.53	▼ 0.07
日本人延べ宿泊数	12,759	40,989	▼ 68.9%	5,836	△ 118.6%	16,599	▼ 23.1%
日本人実宿泊客数	8,731	23,455	▼ 62.8%	4,581	△ 90.6%	10,726	▼ 18.6%
一人当たり宿泊日数 (日本人)	1.46	1.75	▼ 0.29	1.27	△ 0.19	1.55	▼ 0.09
外国人延べ宿泊数	4,162	4,105	△ 1.4%	2	△ 208000.0%	9,456	▼ 56.0%
外国人実宿泊客数	2,856	2,600	△ 9.8%	2	△ 142684.8%	6,333	▼ 54.9%
一人当たり宿泊日数 (外国人)	1.46	1.58	▼ 0.12	1.00	△ 0.46	1.49	▼ 0.04
外国人比率	24.6%	9.1%	△ 15.5	0.0%	△ 24.6	36.3%	▼ 11.7
2019年同月からの 価格変動率	△ 2.3%	▼ 0.8%	△ 3.0	-	-	-	-

注) 旅館の価格変動率は、食事無しの素泊まりの場合の価格をもとに算出している

前月（2022年12月）、前年同月(2022年1月)の値は当時の発表数値であり、調査対象施設数が異なる為、比較する際には注意が必要である。

注) 集計過程で補正処理を行っている都合上、各種指標には小数点以下の端数が発生しており、伸率・差の値は上記の整数値で計算した場合と必ずしも一致しない場合があります。

(2) 稼働率の推移、延べ宿泊数の前年同月比・2019年同月比の推移、外国人比率の推移

京都市内主要旅館の稼働率の推移 (%)

	2023年	2022年	2021年	2019年
1月	39.1	18.8	5.8	42.2
2月	-	14.9	4.3	-
3月	-	27.9	17.9	-
4月	-	30.4	3.9	79.2
5月	-	64.0	3.0	77.6
6月	-	62.5	11.2	69.9
7月	-	37.6	23.5	50.4
8月	-	25.8	9.0	47.3
9月	-	59.8	11.5	61.1
10月	-	60.0	45.1	70.0
11月	-	69.2	59.0	71.3
12月	-	67.3	47.7	62.9
年間		47.5	24.1	

注) 2019年の稼働率は、2022年4月から2019年同月分を調査開始した為、全てのデータが揃っていない

延べ宿泊数 前年同月比・2019年同月比

	日本人客 (前年同月比)	外国人客 (前年同月比)	総宿泊客 (前年同月比)	日本人客 (2019年同月比)	外国人客 (2019年同月比)	総宿泊客 (2019年同月比)
2022年 2月	△ 624.2%	△ 233.3%	△ 622.2%	-	-	-
2022年 3月	△ 143.5%	△ 237.5%	△ 143.6%	-	-	-
2022年 4月	△ 790.4%	△ 406.3%	△ 787.0%	▼ 54.3%	▼ 99.3%	▼ 65.5%
2022年 5月	△ 8330.8%	△ 1966.7%	△ 8305.0%	△ 0.0%	▼ 98.8%	▼ 7.4%
2022年 6月	△ 1240.1%	△ 2466.7%	△ 1241.0%	▼ 0.7%	▼ 98.1%	▼ 7.4%
2022年 7月	△ 65.0%	△ 784.6%	△ 65.6%	△ 32.7%	▼ 98.8%	▼ 10.9%
2022年 8月	△ 195.6%	△ 606.3%	△ 197.5%	▼ 57.5%	▼ 98.5%	▼ 67.4%
2022年 9月	△ 2155.2%	△ 9350.0%	△ 2163.0%	△ 9.4%	▼ 95.2%	▼ 0.4%
2022年 10月	△ 30.8%	△ 19250.0%	△ 33.2%	▼ 7.5%	▼ 83.9%	▼ 14.9%
2022年 11月	△ 8.5%	△ 5435.5%	△ 16.7%	▼ 2.7%	▼ 48.5%	▼ 8.5%
2022年 12月	△ 23.0%	△ 19447.6%	△ 35.2%	▼ 9.7%	▼ 15.9%	▼ 10.3%
2023年 1月	△ 118.6%	△ 208000.0%	△ 189.8%	▼ 23.1%	▼ 56.0%	▼ 35.1%

注) 2019年同月比は、2022年4月から2019年同月分を調査開始した為、全てのデータが揃っていない。

外国人比率

	2023年	2022年	2021年	2019年
1月	24.6%	0.0%	0.0%	36.3%
2月	-	0.2%	0.5%	-
3月	-	0.2%	0.1%	-
4月	-	0.5%	0.9%	24.9%
5月	-	0.1%	0.4%	7.5%
6月	-	0.1%	0.1%	6.9%
7月	-	0.5%	0.1%	33.2%
8月	-	1.1%	0.5%	24.1%
9月	-	0.5%	0.1%	9.4%
10月	-	1.8%	0.0%	9.7%
11月	-	7.1%	0.2%	12.7%
12月	-	9.1%	0.1%	9.7%

注) 2019年の当該項目は、2022年4月から2019年同月分を調査開始した為、全てのデータが揃っていない

(3) 月20日以上休業した施設の割合

- 市内主要旅館25施設における月20日以上休業した施設の割合は4.0%となった。通常の営業状況に戻った施設が多かったが、一部の施設では人手不足の為に休業日を設けていた。

月20日以上休業した施設の割合

	2023年	2022年	2021年	2019年
1月	4.0%	37.9%	3.4%	-
2月	-	41.9%	9.7%	-
3月	-	23.3%	13.3%	-
4月	-	14.8%	-	3.7%
5月	-	6.9%	71.9%	3.4%
6月	-	0.0%	50.0%	3.7%
7月	-	17.9%	31.3%	7.1%
8月	-	14.3%	25.0%	3.6%
9月	-	7.1%	62.5%	3.6%
10月	-	4.2%	19.4%	4.2%
11月	-	3.6%	6.9%	0.0%
12月	-	7.7%	13.8%	0.0%

注) 2019年の当該項目は、2022年4月から2019年同月分を調査開始した為、全てのデータが揃っていない

また、2021年4月は、当該項目の調査を行っていなかったため、データはありません。

(1) 宿泊予約サイトにおける 12 週間先までの客室販売価格の推移

- 京都市内宿泊施設の 12 週間先までの客室販売価格は、前年同期を上回る水準で推移している。特に、桜の開花シーズンである 3 月下旬～4 月上旬は 8 週間前で 3 万円台となっている。

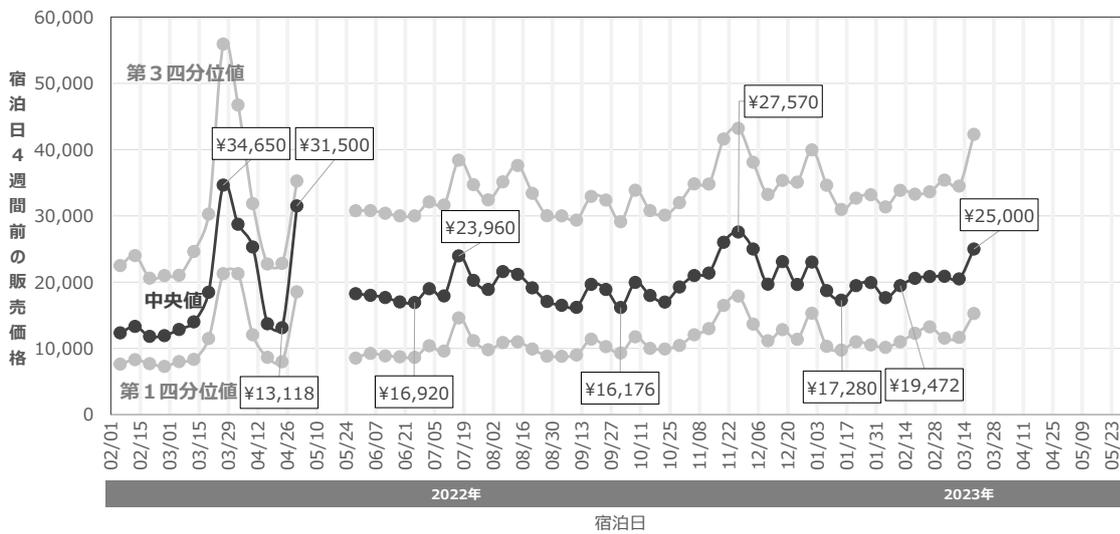
調査期間	概ね毎週火曜日に価格検索を実施 検索日の週末から、12 週先の週末までの 12 回分のデータを取得
調査対象	Booking.com およびトラベルコで京都市内のホテル・旅館・簡易宿所等の宿泊施設を検索したときに表示される価格（2022 年 12 月 5 日までは Booking.com、2022 年 12 月 26 日以降はトラベルコで集計している為、調査対象施設が異なる場合があり、比較する際には注意が必要）
検索条件	「1 室 2 名 食事なし、税抜価格、毎週土曜日にチェックインし翌日の日曜日にチェックアウト」の条件で表示される価格を集計。
集計条件	異常に高額な施設（外れ値）の影響を回避するため、平均値ではなく中央値を算出。 予約サイトに掲載されている価格は、最終的に購入されなかった客室の価格も含まれることになる。一方で、P16 の STR 社による平均客室単価（ADR）は、実際に購入された価格をもとに算出される。したがって、これらの値は単純に比較できるものではない。

第 3 四分位値： 価格が低い施設から順番に並べたとき、初めから数えて 75% の位置にあたる施設の価格。

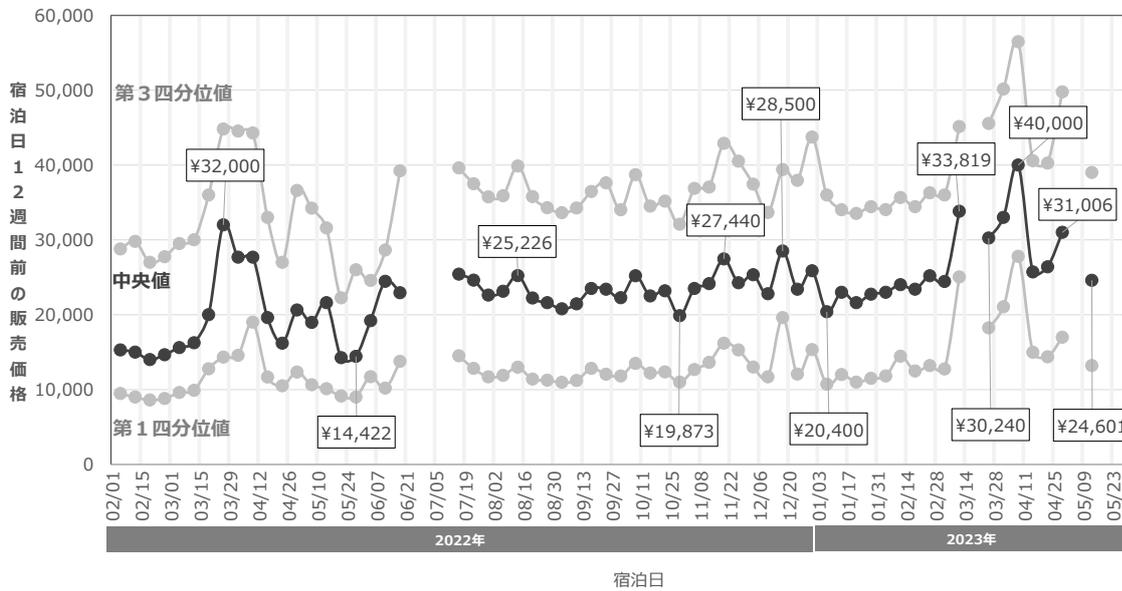
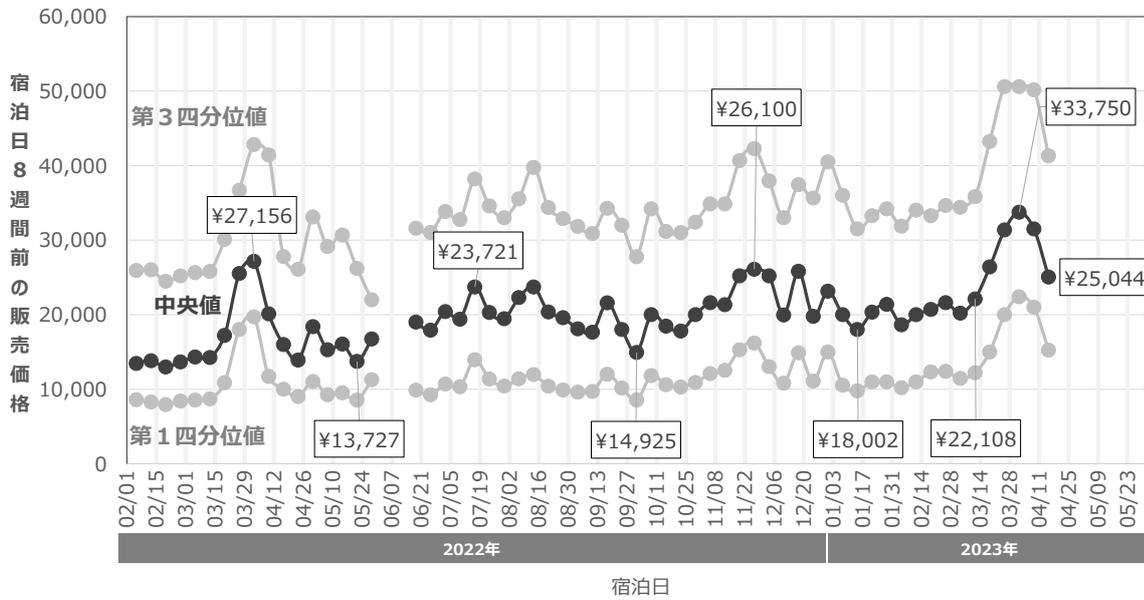
中央値： 価格が低い施設から順番に並べたとき、初めから数えて 50% の位置にあたる施設の価格。

第 1 四分位値： 価格が低い施設から順番に並べたとき、初めから数えて 25% の位置にあたる施設の価格。

予約サイトにおける客室販売価格の推移



注) 2022 年 4 月 30 日～5 月 28 日の間は、調査対象となる WEB サイトの見直しを行っていたため、データが欠損しています。



注) 2023年5月6日は、調査対象となるサンプル数が少なかった為、データが欠損しています。

検索時に指定した宿泊日	検索したタイミング	価格の中央値 (円)	前年同時期の中央値 (円)	前年同期比
2023/2/25		20,838	11,923	△ 74.8%
2023/3/4	宿泊日の4週間前	20,874	12,854	△ 62.4%
2023/3/11		20,495	14,000	△ 46.4%
2023/3/18		25,000	18,475	△ 35.3%
2023/3/25	宿泊日の8週間前	31,360	25,536	△ 22.8%
2023/4/1		33,750	27,156	△ 24.3%
2023/4/8		31,501	20,122	△ 56.6%
2023/4/15		25,044	16,000	△ 56.5%
2023/4/22	宿泊日の12週間前	26,400	16,200	△ 63.0%
2023/4/29		31,006	20,618	△ 50.4%
2023/5/6		-	18,976	-
2023/5/13		24,601	21,600	△ 13.9%

(2) 京都観光意向指数（通称：行こう指数）

2-1. 日本人の訪問意向

- インターネット上における京都観光への訪問意向に関するデータをもとに集計した「行こう指数」の2023年1月の値は95.8（2019年の平均値を100とした場合）となり、前月（12月）の102.7からは6.9ポイント減、前年同月の92.4と同水準となった。例年通り、紅葉シーズン終了後は京都にとっては閑散期であり、検索量が減少したものとみられる。
- 市内主要ホテルにおける2023年1月の日本人実宿泊客数の指数は125.7となり、前年同月をやや上回った。



2023年1月に注目を集めた京都観光関連の主な番組・ニュース

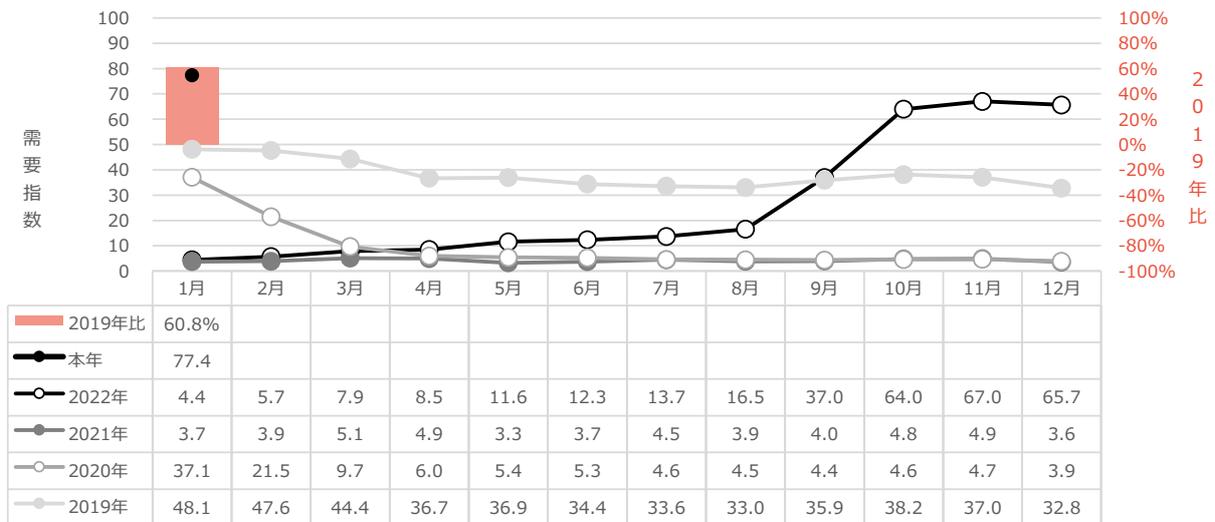
報道日時	媒体	局名・掲載媒体	番組名・記事名	内容、取材スポットなど
1/4 (水)	TV	NHK	ニュース LIVE! ゆう 5 時	岡崎神社
1/7 (土)	TV	NHK	日本最強の城スペシャル	二条城、伏見城
1/20 (金)	SNS	Twitter	Jリーグ日程発表	GW に京都戦
1/24 (火)	SNS	Twitter	大雪/雪化粧	金閣寺など
1/25 (水)	SNS	Twitter	大雪/雪化粧	金閣寺など
1/25 (水)	WEB	各局	キムタク主演映画「レジェンド & バタフライ」	京都各所

出所) VLe ライナック社 「i-Catch」、 「Destination Insights with Google」、
ヴァリュース社 「dockpit」、当協会運営「京都観光 Navi」データを活用し独自に集計

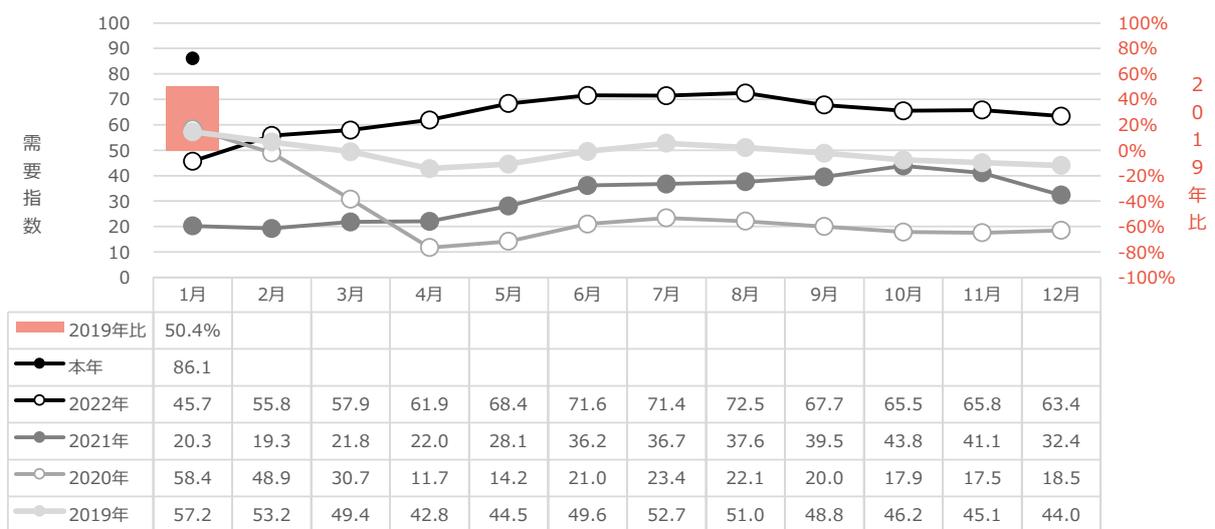
2-2. 外国人の国際旅行意向

- 全世界のインターネットユーザーによる訪日旅行に関する航空および宿泊需要の検索動向を Google が指数化した結果によると、2023年1月は77.4となった。入国制限がほぼ全面撤廃されたことや円安の影響をうけ、コロナ禍前の2019年同月を大幅に上回り、需要指数は高水準で推移している。
- 全世界における国際旅行に関する潜在需要（航空および宿泊需要の検索動向の指数）は、2023年1月は86.1となり、コロナ禍前の2019年同月比では50.4%増となった。世界的な入国制限緩和に合わせて、需要指数は非常に高い水準を維持している。

全世界 → 日本 への宿泊・航空潜在需要
(インターネット検索量)



全世界 → 全世界 への宿泊・航空潜在需要
(インターネット検索量)



出所) Google Travel Trends をもとに京都市観光協会にて集計

(3) 京都市内の宿泊施設数・客室の推移

- 2023年1月末時点での京都市内における営業許可を受けた宿泊施設の施設数は、9軒開業、26軒廃業、差し引き17軒減少して、3,461軒となり、前年同月の3,611軒からは4.2%の減少となった。
- 総客室数（推計）は56,717室となり、前年同月の58,556室から3.1%の減少となった。

	施設数						客室数			
	ホテル・旅館 施設数	簡易宿所 施設数	総施設数	前年比	新規開業	廃業	ホテル・旅館 客室数	簡易宿所 客室数	総客室数	前年比
2014年度 (2015.3月末)	542	460	1,002	-	106	-	26,260	2,929	29,189	-
2015年度 (2016.3月末)	532	696	1,228	△22.6%	255	29	26,297	3,489	29,786	△2.0%
2016年度 (2017.3月末)	550	1,493	2,043	△66.4%	838	23	27,753	6,134	33,887	△13.8%
2017年度 (2018.3月末)	575	2,291	2,866	△40.3%	909	86	29,172	9,247	38,419	△13.4%
2018年度 (2019.3月末)	624	2,990	3,614	△26.1%	919	171	33,608	12,539	46,147	△20.1%
2019年度 (2020.3月末)	656	3,337	3,993	△10.5%	663	284	36,243	17,228	53,471	△15.9%
2020年度 (2021.3月末)	679	3,104	3,783	▼5.3%	422	632	39,729	16,454	56,183	△5.1%
2021年度 (2022.3月末)	680	2,887	3,567	▼5.7%	203	419	42,065	16,551	58,616	△4.3%

	施設数						客室数			
	ホテル・旅館 施設数	簡易宿所 施設数	総施設数	前年比	新規開業	廃業	ホテル・旅館 客室数	簡易宿所 客室数	総客室数	前年比
2022.1月末	685	2,926	3,611	▼5.3%	12	26	41,992	16,564	58,556	△5.5%
2022.2月末	688	2,908	3,596	▼5.4%	13	28	42,368	16,567	58,935	△5.5%
2022.3月末	680	2,887	3,567	▼5.7%	16	45	42,065	16,551	58,616	△4.3%
2022.4月末	676	2,889	3,565	▼5.8%	15	17	41,818	16,562	58,380	△2.9%
2022.5月末	673	2,867	3,540	▼5.9%	7	32	41,632	16,436	58,068	△1.6%
2022.6月末	672	2,851	3,523	▼5.9%	8	25	41,570	16,345	57,915	△1.0%
2022.7月末	673	2,845	3,518	▼5.7%	12	17	41,632	16,310	57,942	△0.7%
2022.8月末	675	2,834	3,509	▼5.4%	9	18	41,756	16,247	58,003	△0.6%
2022.9月末	676	2,824	3,500	▼5.1%	9	18	41,818	16,190	58,007	△0.1%
2022.10月末	677	2,831	3,508	▼4.5%	17	9	41,879	16,230	58,109	△0.3%
2022.11月末	671	2,808	3,479	▼4.9%	9	38	41,508	16,098	57,606	▼1.1%
2022.12月末	669	2,809	3,478	▼4.1%	16	17	41,385	16,104	57,488	▼1.2%
2023.1月末	657	2,804	3,461	▼4.2%	9	26	40,642	16,075	56,717	▼3.1%

出所) 京都市 保健福祉局「旅館業法に基づく許可施設数の推移」をもとに集計

注) 客室数は年度末（毎年3月末）時点しか発表されないため、それ以外の月の数値は、年度末の施設あたり客室数をもとに補完推計して算出している。

(4) ビッグデータにもとづく京都市内の人流・滞在状況

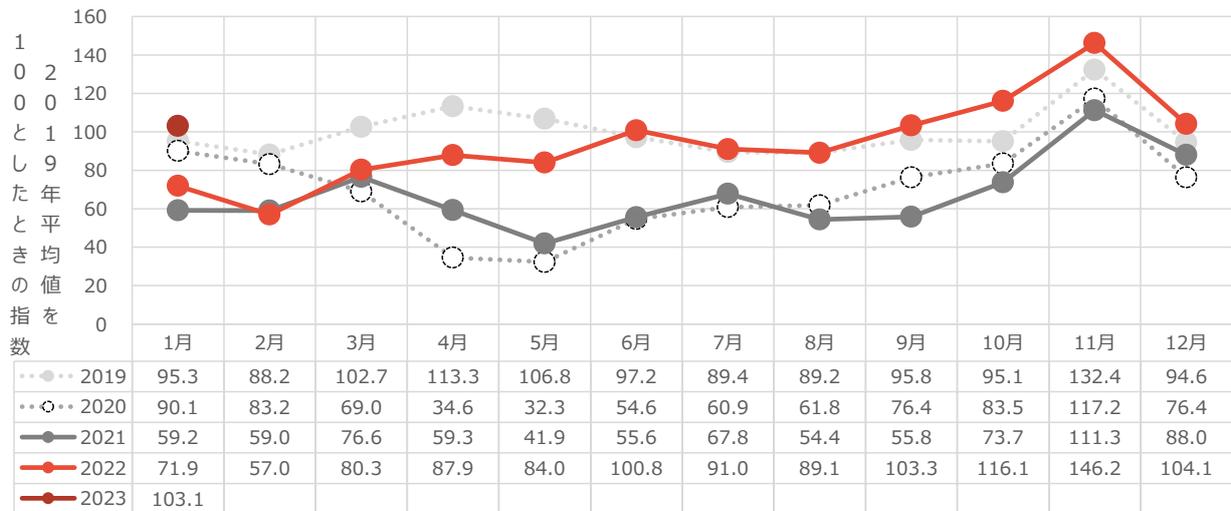
4-1. 市内の日本人来街者数の実績

京都市内の主要地点 39 箇所における日本人来街者数[※]を、携帯電話の位置情報をもとにしたビッグデータから以下の通り集計した。

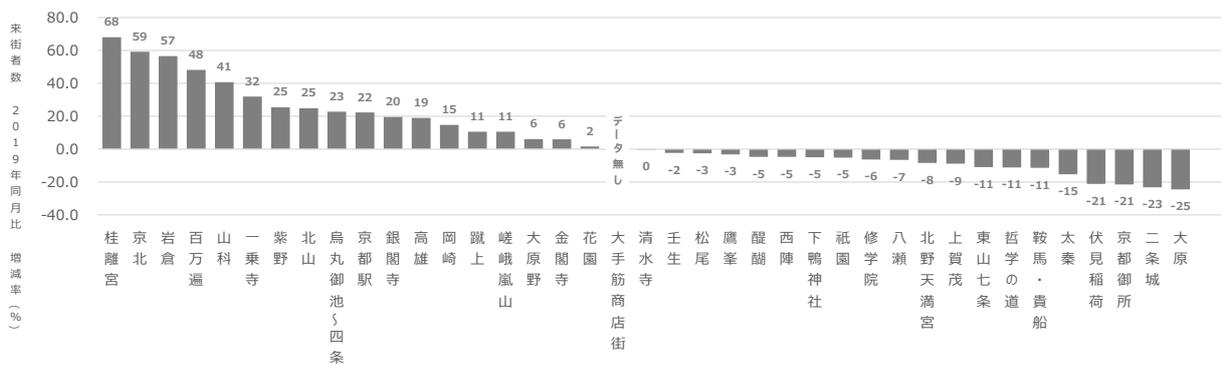
- 2023 年 1 月の来街者指数は 103.1（2019 年の平均値を 100 とした場合）となり、前年同月の 71.9 を 31.2 ポイント上回った。コロナ禍前である 2019 年同月を 5 か月連続で上回っている。
- 地点別の指数をみると、およそ半数のエリアで来街者数が 2019 年同月を上回った。

※ 測定の対象とする地域内の居住者や、通勤等の目的で頻繁に来訪・滞在する人以外で、当該地域を訪れる人の数

京都市内39地点における日本人来街者指数の推移



京都市内39地点における 日本人来街者数 2019年同月前年比



出所) KDDI 社のスマートフォン位置情報 (KDDI Location Analyzer) をもとに集計

2022 年 6 月分から上記システムの集計精度が高まった為、過去のデータとの単純比較はできない。

4-2. 年代別の分布

- 京都駅周辺の来街者数の前年同月比は、ワクチン接種等により感染不安・重症化不安が和らいだことや「全国旅行支援」があったため、全年代で増加した。
- 年代別構成比での60代以上が占める割合は24.9%と、2か月連続で30%を下回った。

京都駅周辺の来街者数の前年同月比

年	月	20代	30代	40代	50代	60代	70代～
2022	1	△ 34.0%	△ 43.1%	△ 39.5%	△ 36.4%	△ 39.6%	△ 46.3%
2022	2	△ 11.4%	△ 5.6%	△ 0.8%	△ 2.3%	△ 1.9%	▼ 2.6%
2022	3	△ 11.3%	△ 7.2%	△ 10.0%	△ 7.6%	△ 11.1%	△ 11.7%
2022	4	△ 30.3%	△ 37.3%	△ 39.3%	△ 38.7%	△ 55.3%	△ 76.1%
2022	5	△ 103.3%	△ 120.7%	△ 124.7%	△ 115.9%	△ 145.6%	△ 195.8%
2022	6	△ 105.4%	△ 115.6%	△ 97.8%	△ 100.1%	△ 114.9%	△ 143.6%
2022	7	△ 51.2%	△ 53.6%	△ 51.9%	△ 50.5%	△ 58.3%	△ 47.2%
2022	8	△ 79.8%	△ 77.4%	△ 82.1%	△ 75.9%	△ 70.4%	△ 68.8%
2022	9	△ 127.0%	△ 110.8%	△ 105.8%	△ 98.3%	△ 101.7%	△ 103.1%
2022	10	△ 74.4%	△ 68.0%	△ 61.0%	△ 57.5%	△ 61.2%	△ 68.9%
2022	11	△ 42.8%	△ 41.0%	△ 33.4%	△ 31.8%	△ 31.8%	△ 37.2%
2022	12	△ 27.8%	△ 22.3%	△ 20.8%	△ 17.8%	△ 19.8%	△ 17.5%
2023	1	△ 52.1%	△ 48.7%	△ 43.3%	△ 36.7%	△ 44.7%	△ 47.4%

京都駅周辺の来街者の年代別構成比

年	月	20代	30代	40代	50代	60代	70代～
2022	1	22.3%	18.3%	18.7%	15.7%	13.7%	11.3%
2022	2	23.0%	16.8%	18.0%	16.2%	14.4%	11.6%
2022	3	21.1%	15.4%	18.2%	16.0%	15.2%	14.1%
2022	4	19.0%	15.9%	17.3%	15.3%	16.6%	15.8%
2022	5	20.1%	17.1%	17.1%	15.0%	16.0%	14.6%
2022	6	19.9%	17.3%	16.9%	15.0%	15.9%	15.1%
2022	7	21.9%	17.6%	17.9%	15.3%	15.1%	12.2%
2022	8	24.5%	17.8%	19.3%	15.1%	13.1%	10.2%
2022	9	24.0%	17.6%	17.1%	14.7%	14.2%	12.3%
2022	10	20.7%	16.6%	16.5%	14.9%	15.6%	15.7%
2022	11	19.6%	15.6%	15.7%	14.6%	16.8%	17.7%
2022	12	22.1%	17.7%	17.6%	14.6%	14.6%	13.4%
2023	1	23.3%	18.7%	18.4%	14.7%	13.6%	11.4%

出所) KDDI 社のスマートフォン位置情報 (KDDI Location Analyzer) をもとに集計

(5) 京都市内4百貨店における免税売上げ

	2023年1月	2022年1月	前年同月比	2019年1月	2019年同月比
免税件数	13,161件	226件	△5,723.5%	27,039件	▼51.3%
免税単価	7万4,889円	54万6,077円	▼86.3%	4万5,231円	△65.6%
免税売上額	9億8,558万円	1億2,341万円	△698.6%	12億2,300万円	▼19.4%
総売上額	178億8,596万円	151億4,357万円	△18.1%	198億4,070万円	▼9.9%
免税売上割合	5.5%	0.8%	△4.7pts	6.2%	▼0.7pts

※総売上額には免税対象とならない飲食サービス売上げ等も含まれる(税別)

		免税売上(万円)					免税割合				
		当年	前年	前年比	2019年	2019年比	当年	前年	前年比	2019年	2019年比
2022年	1月	12,341	10,677	15.6%	122,300	-89.9%	0.8%	0.8%	△0.0	6.2%	▼5.4
	2月	9,574	9,950	-3.8%	167,735	-94.3%	0.9%	1.0%	▼0.1	9.9%	▼9.0
	3月	9,375	9,965	-5.9%	172,657	-94.6%	0.6%	0.6%	△0.0	8.3%	▼7.7
	4月	10,638	6,159	72.7%	199,274	-94.7%	0.7%	0.5%	△0.2	10.9%	▼10.2
	5月	11,245	13,950	-19.4%	161,464	-93.0%	0.7%	1.7%	▼1.0	9.0%	▼8.3
	6月	13,799	11,154	23.7%	146,483	-90.6%	0.8%	0.8%	△0.0	7.8%	▼7.0
	7月	20,561	5,773	256.2%	142,213	-85.5%	1.2%	0.4%	△0.8	7.6%	▼6.4
	8月	17,404	6,754	157.7%	124,408	-86.0%	1.2%	0.6%	△0.6	7.3%	▼6.1
	9月	17,714	7,906	124.1%	118,425	-85.0%	1.1%	0.6%	△0.5	5.7%	▼4.6
	10月	54,325	11,603	368.2%	135,393	-59.9%	3.1%	0.7%	△2.4	8.5%	▼5.4
	11月	97,553	9,366	941.6%	159,972	-39.0%	4.9%	0.5%	△4.4	8.0%	▼3.1
	12月	122,074	10,896	1020.4%	142,600	-14.4%	4.7%	0.5%	△4.2	5.5%	▼0.8
2023	1月	98,558	12,341	698.6%	122,300	-19.4%	5.5%	0.8%	△4.7	6.2%	▼0.7

免税売上額に占める国・地域別割合(構成比)

順位	2023年1月				2022年1月	
	国・地域名	構成比	前年同月比	2019年同月比	国・地域名	構成比
1	台湾	31.6%	△31.6ポイント	▼28.1ポイント	中国	85.3%
2	中国	18.5%	▼66.8ポイント	▼63.6ポイント	ベトナム	0.52%
3	香港	14.8%	△14.8ポイント	△12.0ポイント	アメリカ	0.04%
4	韓国	7.74%	△7.73ポイント	△5.94ポイント	イギリス	0.03%
5	シンガポール	4.03%	△4.03ポイント	△3.63ポイント	マレーシア	0.02%

注) 2年以上外国に滞在する日本人が一時帰国し、入国後6か月未満である場合も免税対象となる。これに該当する免税売上げは国・地域別構成比の計算に含めているが、ランキングからは除外している。

(6) 京都総合観光案内所（京なび）利用者数 ※JR 京都駅ビル 2 階

相談者数 (人)	2023年 1月	2022年 12月	前月比	2022年 1月	前年 同月比	2019年 1月	2019年 同月比
日本人	14,176	22,290	▼ 36.4%	8,564	△65.5%	28,482	▼50.2%
外国人	7,335	9,126	▼ 19.6%	263	△2,689.0%	19,469	▼62.3%
合計	21,511	31,416	▼ 31.5%	8,827	△ 143.7%	47,951	▼55.1%
外国人 比率	34.1%	29.5%	△4.6pts	3.0%	△31.1pts	40.6%	▼6.5pts
来所者数 (自動カウン ト機による)	52,323	67,925	▼ 23.0%	26,257	△ 99.3%	103,946	▼49.7%

外国人相談者における国・地域別割合

順位	2023年1月		2022年12月		2022年1月		2019年1月	
	国・地域名	構成比	国・地域名	構成比	国・地域名	構成比	国・地域名	構成比
1	韓国	22.5%	韓国	17.8%	フィリピン	11.6%	中国	21.5%
2	台湾	17.6%	台湾	11.9%	アメリカ	11.6%	韓国	20.1%
3	アメリカ	9.5%	アメリカ	11.0%	中国	7.2%	台湾	10.9%
4	オーストラリア	8.0%	香港	10.5%	タイ	7.2%	オーストラリア	8.1%
5	シンガポール	7.4%	シンガポール	10.2%	インドネシア	7.2%	アメリカ	6.7%

(7) 為替レートの推移

月平均Telegraphic Transfer Buying (「外貨」を「円」に交換するときのレート)

数値が小さくなるほど円高となり、外国人が訪日旅行をする際不利となる

時点	米ドル	ユーロ	英ポンド	豪ドル	香港ドル	台湾ドル	中国 人民元	タイ バーツ	韓国 ウォン	
2019	1月	108.0	123.0	136.8	76.0	13.5	0.281	15.8	3.35	9.5
	2月	109.4	123.8	139.6	76.9	13.6	0.277	16.1	3.45	9.7
	3月	110.2	124.2	142.6	76.7	13.7	0.275	16.3	3.43	9.6
	4月	110.7	124.1	141.7	77.6	13.8	0.274	16.3	3.43	9.6
	5月	108.9	121.4	136.8	74.2	13.6	0.282	15.6	3.38	9.1
	6月	107.1	120.5	133.0	73.1	13.4	0.288	15.4	3.39	9.0
	7月	107.3	120.0	131.2	73.6	13.4	0.293	15.4	3.44	9.0
	8月	105.3	116.8	125.3	70.0	13.1	0.288	14.7	3.38	8.6
	9月	106.5	116.7	128.5	71.1	13.3	0.288	14.8	3.43	8.8
	10月	107.2	117.9	132.4	71.4	13.4	0.282	14.9	3.48	8.9
	11月	107.9	118.8	136.3	72.3	13.5	0.278	15.2	3.52	9.1
	12月	108.2	119.8	139.0	73.1	13.6	0.272	15.3	3.54	9.1
2020	1月	108.4	119.9	138.9	72.9	13.6	0.272	15.5	3.51	9.2
	2月	109.0	118.5	138.7	71.4	13.7	0.272	15.4	3.44	9.0
	3月	106.4	117.5	129.2	65.0	13.4	0.278	15.0	3.28	8.6
	4月	107.0	115.9	130.0	65.8	13.5	0.276	15.0	3.23	8.6
	5月	106.4	115.5	127.8	68.1	13.4	0.277	14.8	3.27	8.6
	6月	106.6	119.6	130.8	72.1	13.5	0.274	14.9	3.37	8.7
	7月	105.8	120.7	131.1	73.0	13.4	0.273	14.9	3.33	8.7
	8月	105.1	123.9	135.3	74.3	13.3	0.275	15.0	3.32	8.8
	9月	104.8	123.2	133.3	74.5	13.2	0.274	15.2	3.29	8.8
	10月	104.3	122.4	132.6	73.0	13.2	0.270	15.4	3.29	9.0
	11月	103.4	122.0	133.9	73.9	13.0	0.271	15.5	3.35	9.2
	12月	102.8	124.7	135.4	76.0	13.0	0.269	15.6	3.37	9.3
2021	1月	102.7	124.7	137.5	78.1	12.9	0.268	15.7	3.38	9.3
	2月	104.4	125.9	141.9	79.6	13.2	0.263	16.1	3.44	9.3
	3月	107.6	127.9	146.6	81.8	13.6	0.257	16.4	3.45	9.4
	4月	108.1	128.9	147.0	82.0	13.6	0.257	16.4	3.41	9.6
	5月	108.2	131.2	150.0	82.8	13.6	0.250	16.7	3.41	9.5
	6月	109.1	131.3	150.6	82.2	13.8	0.250	16.9	3.43	9.6
	7月	109.3	128.9	148.4	80.0	13.8	0.252	16.7	3.30	9.5
	8月	108.9	127.8	147.6	78.2	13.7	0.251	16.7	3.24	9.3
	9月	109.2	128.3	147.5	78.7	13.7	0.249	16.8	3.26	9.2
	10月	112.1	129.7	150.8	81.6	14.1	0.245	17.3	3.30	9.4
	11月	113.1	128.8	149.6	81.5	14.2	0.242	17.6	3.37	9.5
	12月	112.9	127.2	147.4	79.4	14.2	0.242	17.6	3.32	9.4
2022	1月	113.9	128.5	151.7	80.5	14.3	0.239	17.8	3.38	9.4
	2月	114.2	129.1	151.9	80.4	14.3	0.239	17.9	3.45	9.4
	3月	117.5	129.1	152.2	85.3	14.7	0.238	18.4	3.49	9.5
	4月	125.0	135.0	159.5	91.1	15.6	0.228	19.3	3.66	10.0
	5月	127.8	134.8	156.2	88.6	16.0	0.220	18.8	3.66	10.0
	6月	132.9	140.1	161.1	92.1	16.6	0.219	19.7	3.76	10.3
	7月	135.8	138.0	160.2	91.8	17.0	0.216	20.0	3.69	10.3
	8月	134.2	135.3	158.0	92.0	16.8	0.220	19.6	3.69	10.1
	9月	142.1	140.2	158.2	93.7	17.8	0.216	20.1	3.79	10.1
	10月	146.2	143.4	162.4	91.7	18.3	0.215	20.2	3.80	10.1
	11月	141.5	143.7	163.1	91.9	17.8	0.219	19.5	3.83	10.3
	12月	134.1	141.4	160.4	89.1	16.9	0.225	19.0	3.80	10.3
2023	1月	129.4	139.2	155.7	88.7	16.2	0.231	18.9	3.86	10.3

※韓国ウォンは100ウォンあたりのレート

出所) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 外国為替相場

宿泊状況調査結果詳細 (2023年1月)

(公社)京都市観光協会
(公財)京都文化交流コンベンションビューロー

国・地域		2023年(1月)														
		実人数					延べ人数					延べ部屋数				
		2023	2022	伸率	2023 構成比	2022 構成比	2023	2022	伸率	2023 構成比	2022 構成比	2023	2022	伸率	2023 構成比	2022 構成比
北米	アメリカ	8242	139	5829.5%	11.7%	32.2%	23,054	350	6486.9%	13.7%	32.4%	12,171	149	8068.5%	14.1%	24.1%
	カナダ	1,169	5	23280.0%	1.7%	1.2%	3,136	12	26033.3%	1.9%	1.1%	1,642	7	23357.1%	1.9%	1.1%
	北米小計	9,411	144	6435.4%	13.3%	33.3%	26,190	362	7134.8%	15.6%	33.5%	13,813	156	8754.5%	16.0%	25.2%
中南米	メキシコ	237	0	100.0%	0.3%	N/A	713	0	100.0%	0.4%	N/A	335	0	100.0%	0.4%	N/A
	ブラジル	319	3	10533.3%	0.5%	0.7%	1,079	41	2531.7%	0.6%	3.8%	478	25	1812.0%	0.6%	4.0%
	その他	167	2	8250.0%	0.2%	0.5%	902	5	17940.0%	0.5%	0.5%	462	5	9140.0%	0.5%	0.8%
	南米小計	723	5	14360.0%	1.0%	1.2%	2,694	46	5756.5%	1.6%	4.3%	1,275	30	4150.0%	1.5%	4.8%
ヨーロッパ	イギリス	1,127	0	100.0%	1.6%	N/A	3,212	4	80200.0%	1.9%	0.4%	1,861	2	92950.0%	2.2%	0.3%
	フランス	678	37	1732.4%	1.0%	8.6%	1,879	48	3814.6%	1.1%	4.4%	1,127	47	2297.9%	1.3%	7.6%
	ドイツ	558	5	11060.0%	0.8%	1.2%	1,687	10	16770.0%	1.0%	0.9%	1,041	8	12912.5%	1.2%	1.3%
	イタリア	631	0	100.0%	0.9%	N/A	2,258	0	100.0%	1.3%	N/A	1,173	0	100.0%	1.4%	N/A
	オランダ	208	0	100.0%	0.3%	N/A	592	0	100.0%	0.4%	N/A	326	0	100.0%	0.4%	N/A
	スペイン	528	0	100.0%	0.7%	N/A	1,497	0	100.0%	0.9%	N/A	801	0	100.0%	0.9%	N/A
	スイス	234	0	100.0%	0.3%	N/A	679	4	16875.0%	0.4%	0.4%	384	2	19100.0%	0.4%	0.3%
	スウェーデン	115	0	100.0%	0.2%	N/A	241	0	100.0%	0.1%	N/A	137	0	100.0%	0.2%	N/A
	フィンランド	38	0	100.0%	0.1%	N/A	114	0	100.0%	0.1%	N/A	75	0	100.0%	0.1%	N/A
	ロシア	100	4	2400.0%	0.1%	0.9%	298	25	1092.0%	0.2%	2.3%	143	14	921.4%	0.2%	2.3%
	その他	832	15	5446.7%	1.2%	3.5%	2,410	41	5778.0%	1.4%	3.8%	1,339	36	3619.4%	1.6%	5.8%
ヨーロッパ小計	5,049	61	8177.0%	7.2%	14.1%	14,867	132	11162.9%	8.8%	12.2%	8,407	109	7612.8%	9.7%	17.6%	
東アジア	中国	4,247	58	7222.4%	6.0%	13.4%	11,070	171	6373.7%	6.6%	15.8%	5,754	126	4466.7%	6.7%	20.4%
	台湾	16,637	10	166270.0%	23.6%	2.3%	36,355	84	43179.8%	21.6%	7.8%	17,508	20	87440.0%	20.3%	3.2%
	香港	6,590	6	109733.3%	9.3%	1.4%	14,655	12	122025.0%	8.7%	1.1%	7,270	5	145300.0%	8.4%	0.8%
	韓国	10,562	7	150785.7%	15.0%	1.6%	23,978	28	85535.7%	14.3%	2.6%	12,150	7	173471.4%	14.1%	1.1%
	東アジア小計	38,036	81	46858.0%	53.9%	18.8%	86,058	295	29072.2%	51.2%	27.3%	42,682	158	26913.9%	49.5%	25.5%
東南アジア	フィリピン	902	2	45000.0%	1.3%	0.5%	1,172	2	58500.0%	0.7%	0.2%	803	1	80200.0%	0.9%	0.2%
	ベトナム	827	1	82600.0%	1.2%	0.2%	640	1	63900.0%	0.4%	0.1%	553	1	55200.0%	0.6%	0.2%
	タイ	1,429	10	14190.0%	2.0%	2.3%	2,817	15	18680.0%	1.7%	1.4%	1,333	8	16562.5%	1.5%	1.3%
	インドネシア	1,362	0	100.0%	1.9%	N/A	3,018	0	100.0%	1.8%	N/A	1,431	0	100.0%	1.7%	N/A
	マレーシア	1,570	2	78400.0%	2.2%	0.5%	3,367	6	56016.7%	2.0%	0.6%	1,705	3	56733.3%	2.0%	0.5%
	シンガポール	2,956	20	14680.0%	4.2%	4.6%	8,197	30	27223.3%	4.9%	2.8%	4,129	12	34308.3%	4.8%	1.9%
	インド	738	3	24500.0%	1.0%	0.7%	518	10	5080.0%	0.3%	0.9%	550	6	9066.7%	0.6%	1.0%
	その他	448	16	2700.0%	0.6%	3.7%	1,346	41	3182.9%	0.8%	3.8%	659	33	1897.0%	0.8%	5.3%
	東南アジア小計	10,232	54	18848.1%	14.5%	12.5%	21,075	105	19971.4%	12.5%	9.7%	11,163	64	17342.2%	12.9%	10.3%
中東	イスラエル	98	0	100.0%	0.1%	N/A	231	0	100.0%	0.1%	N/A	138	0	100.0%	0.2%	N/A
	カタール	35	0	100.0%	0.0%	N/A	123	0	100.0%	0.1%	N/A	40	0	100.0%	0.0%	N/A
	UAE	112	1	11100.0%	0.2%	0.2%	282	4	6950.0%	0.2%	0.4%	141	4	3425.0%	0.2%	0.6%
	サウジアラビア	91	0	100.0%	0.1%	N/A	221	0	100.0%	0.1%	N/A	119	0	100.0%	0.1%	N/A
	トルコ	59	0	100.0%	0.1%	N/A	140	0	100.0%	0.1%	N/A	71	0	100.0%	0.1%	N/A
	その他	173	0	100.0%	0.2%	N/A	473	2	23550.0%	0.3%	0.2%	265	1	26400.0%	0.3%	0.2%
	中東小計	568	1	56700.0%	0.8%	0.2%	1,470	6	24400.0%	0.9%	0.6%	774	5	15380.0%	0.9%	0.8%
オセアニア	オーストラリア	4,653	0	100.0%	6.6%	N/A	12,168	2	608300.0%	7.2%	0.2%	5,857	1	585600.0%	6.8%	0.2%
	ニュージーランド	299	0	100.0%	0.4%	N/A	899	0	100.0%	0.5%	N/A	416	0	100.0%	0.5%	N/A
	その他	6	0	100.0%	0.0%	N/A	12	0	100.0%	0.0%	N/A	6	0	100.0%	0.0%	N/A
	オセアニア小計	4,958	0	100.0%	7.0%	N/A	13,079	2	653850.0%	7.8%	0.2%	6,279	1	627800.0%	7.3%	0.2%
アフリカ	36	1	3500.0%	0.1%	0.2%	112	5	2140.0%	0.1%	0.5%	45	5	800.0%	0.1%	0.8%	
海外その他	1,595	85	1776.5%	2.3%	19.7%	2,565	126	1935.7%	1.5%	11.7%	1,808	91	1886.8%	2.1%	14.7%	
外国人合計	70,608	432	16244.4%			168,110	1,079	15480.2%			86,246	619	13833.1%			
日本人合計	229,202	181,850	26.0%			378,325	287,048	31.8%			241,811	184,630	31.0%			
合計	299,810	182,282	64.5%			546,435	288,127	89.7%			328,057	185,249	77.1%			

	2023	2022	伸率・前年同月差
販売可能客室数	593,909室	573,692室	3.5%
稼働客室数	328,057室	185,249室	77.1%
稼働率	55.2%	32.3%	22.9ポイント増
外国人比率 (延べ人数ベース)	30.8%	0.4%	30.4ポイント増
外国人比率 (延べ部屋数ベース)	26.3%	0.3%	26.0ポイント増

(注)実人数もしくは延べ人数の集計がない施設の数値については、回答のあった施設の平均値(国・地域別)をもとに算出。小数点第一位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。

(1)調査時期: 2023年1月1日~2023年1月31日

(2)対象施設数: 115ホテル(19,283室)